新京日日新聞
夕刊
十二月二十三日
本紙定價一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一二五 營業局專用(3)三三二〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

逆襲の敵二千を邀撃
殲滅的大打撃を與ふ
敵の遺棄死體五百に達す

【上海廿三日發國通】〇〇〇西方〇〇方面におけるわが第一線部隊〇〇三部隊に對し廿二日午前一時頃から部隊正面にそれ〴〵二、三千の兵力の敵が猛襲を敢行した、わが各部隊はこれに對し午前四時まで三時間にわたり奮戰し、遂に殲滅的大打撃を與へ敵を西方に撃退したが、〇〇部隊方面の敵の遺棄死体は將校以下五百に達し重輕傷は實に二千の多きに達した模樣である、一方〇〇部隊においては同樣に徹底的大打撃を與へ敵を殲滅したが、わが軍の猛撃に堪へかね多數の投降者があり、その言によれば逆襲を試みた敵は五十一師、六十師、四十四師の三ケ師のものであつたといはれる、なほわが死傷者は極めて輕微で〇〇、〇〇兩部隊は被害なく僅かに〇〇部隊において戰死傷合せて〇〇名に過ぎなかつた

本多中尉戰死

【上海廿二日發國通】〇〇部隊は十九日朝來砲兵、戰車隊の協力を得て〇〇方面の敵陣地に攻撃を開始し午後七時には完全に之を攻略したが、この戰闘に際し〇〇部隊〇〇隊長本多芳彦中尉は午後二時麾下の一隊を率ゐ〇〇〇〇〇の前方陣地を奪取、引續き前進西部〇〇〇の一端にとりついて部下を指揮し猛攻中飛び來つた一彈のため名譽の戰死を遂げた

江上艦艇敵陣地を猛砲撃

【上海廿二日發國通】廿二日午後五時卅分江上艦艇は砲門を開き〇〇、〇〇〇附近の敵に猛烈な砲撃を加へ多大の損害を與へた

海の荒鷲 南京、上海に猛威發揮

【上海廿二日發國通】艦隊報道部廿二日午後九時卅分發表＝（一）和田少佐の率ゐる海軍航空隊は廿二日午後五時南京を空襲、大校場飛行場格納庫等を爆撃、敵に大なる損害を與へたり（二）又野部隊は全力を擧げて陸軍戰闘に協力敵陣地攻撃に從事せるほか閘北、江灣、浦東の攻撃および京滬鐵道、滬杭、蘇嘉沿線ならびにクリークに據る敵軍隊、軍需品輸送線を攻撃せり（三）軍艦〇〇は陸軍の作戰に協力、江上より巨砲をもつて江灣附近の敵陣地を砲撃せり

彰徳の攻略近し！
皇軍部隊、大黄河に迫る

【天津廿二日發國通】敵軍の河北集中を一掃した京漢線方面のわが軍は意氣軒昂、大黄河を呑む勢で漳河對岸豊樂鎭陣地の敵大部隊と相對峙してゐたが、俄然廿日未明〇〇部隊先鋒の〇〇部隊は勇躍漳河上流より渡河を敢行、續いて〇〇部隊も渡河、豊樂鎭陣地に向つて激戰を展開した、豊樂鎭の西南にある大行山脈の山地を包圍河南省北部最大の要地たる彰徳に至る間敵は大部隊を擁してわが軍に逆襲を試み頑强な抵抗振りであつたが、遂に廿二日朝石黒部隊は豊樂鎭を占據、右翼部隊は西保哨を確保し、更に各々南方に向ひ破竹の勢をもつて突撃を行つてゐて、かくてわが軍は彰徳北方に於て敵を撃破し河南省第一戰に凱歌あげた、敵は支へきれず續々と後方に退却しつゝあるが、戰機急激に躍動して大黄河を第一線とする支那國防本陣防禦の戰略的な要地たる彰徳の攻略は目睫に迫つてゐる

彰徳附近を空襲
敗走する敵を粉碎

【〇〇廿二日發國通】朝來の濃霧漸く晴れわたつた正午頃わが柴田部隊の〇〇機は長驅敗色濃き彰徳附近およびその後方を襲ひ、折柄南下敗走中の敵部隊および敵陣地に對し果敢なる爆撃を敢行して歸還したが、漳河南岸豊樂鎭以東の敵部隊は列車およびトラツクをもつて續々彰徳およびそれ以南に潰走中である

漳河鐵橋を確保す

【双廟廿二日發國通】漳河對岸の西保哨高地を占領した遠山部隊は廿二日午後二時東方に向つて進撃を開始し、漳河に沿うて進み、午後四時京漢線鐵橋對岸の敵を撃破、遂に漳河鐵橋を確保した、これにより漳河右岸の敵は完全に掃蕩されるに至つた

廿三日朝までの各地戰況

▲京綏線方面 察哈爾作戰軍は綏遠省内の支那兵掃蕩を終り、目下同蒲線忻口鎭においては天嶮に據る約卅萬の山西共産軍と激戰中であるが、忻口鎭部落を一望に見下す忻口山同船形高地を作戰軍の手中に收められた敵軍の潰滅は最早時間の問題である
▲京漢、津浦線 太原東方の護りとして支那軍は約十萬の兵を正太線娘子關新關附近に集結して鯉登部隊の追撃を阻止してゐるが、晝夜分たぬ皇軍の反復突撃に天下三嶮の隨一と誇つた天嶮の突破迫る、また列車追撃部隊は既に漳河の渡河を完了し、石黒部隊は廿二日堂々豊樂鎭を占領遠山部隊も西保哨高地を確保して當面の敵を掃蕩中である

正太線、同蒲鐵路に
陸軍機連續猛爆
地上部隊進撃も活潑

津浦線方面の戰局は漸く活潑となり鳳凰庄、臨邑にあつた敵部隊は廿二日わが空

【〇〇廿二日發國通】間斷なきわが陸の荒鷲部隊の猛撃は日を逐つて益々その威力を發揮し、山西方面に於ては敵陣ならびにその退路遮斷の大爆撃に敵は漸く動搖の色を示しつゝあるが、廿二日午後佐々園田、中富部隊の〇〇機編隊は正太線省境娘子關新關にある敵陣地に對し再度猛烈なる爆撃を敢行同日午前のわが地上部隊の芦澤關北方高地奪取と相俟つて正太線以北の敵部隊はすでに敗走の色濃く吏に〔更に〕わが〇〇機の娘子關新關の爆撃はわが鯉登部隊の新關高所攻撃を有利に展開し、正太線を挾む南北より逐次敵を壓迫しつゝあり、また太原の北方戰線においては廿二日午後島田部隊の〇〇機が忻口鎭東西の敵山岳陣地に大爆撃を決行した、かくて正太線及び同蒲兩線鐵路にあるわが太原攻略東北兩線の進撃は一段と活況を呈しつゝある

長驅大名を襲ひ
敵陣地に大損害與ふ

【天津廿二日發國通】〇〇根據地に待機中の中平部隊の精鋭は廿二日午前と午後の二回に亘り銀翼を連ねて出動、その一隊は陵縣より進撃する地上部隊前面の敵を爆撃すべく午後一時半徳州南方鳳凰庄及び臨邑地方に集結中の第二十九師を空襲、果敢なる編隊爆撃を加へたので敵は大混亂を呈し、勝河、濟陽方面へ總退却を行つてゐるが、さらに他の一部は遠く大名を空襲、同地飛行場ならびに各施設を爆撃、大損害を與へて全機無事歸還した

軍部隊の痛爆を受けて大損害を蒙り、勝河、濟陽方面に潰走した

▲中南支方面 海軍航空部隊は陸軍戰闘に協力して廿二日終日閘北、江灣、浦東の敵陣を爆撃粉粹した、また和田少佐の率ゐる大編隊も廿二日午後五時長驅南京を襲撃、首都の軍事施設今や全く沈默す

莊頭の敵
遺棄死體三百

【石家莊廿二日發國通】わが〇〇部隊は廿一日夜來正太鐵道兩側の長城縣に據る殘敵に猛撃を開始し十數回の突撃を敢行した結果、頑强に抵抗を續けてゐた敵も次第に浮足立ち廿二日午前八時頃に至り遂に退却した、陸の荒鷲は地上部隊と呼應退却する敵に猛烈な爆撃を敢行しつゝあり、莊頭北方附近のみでも敵の遺棄死體三百を超え追撃砲一門、重機二、輕機四その他多數の彈藥を鹵獲した

順徳在住外人達
皇軍保護に感激

【石家莊廿二日發國通】順徳在留外人は全部無事でわが〇〇部隊は彼等に食料を送つて手厚い保護を加へてゐるので非常に感謝されてゐる

佐藤見習士官

【上海廿二日發國通】川崎部隊の見習士官佐藤伴藏氏は二十日午前九時頃多數の敵兵が逆襲し來つた時、勇躍第一線に立つて應戰、これを撃退、更に左前方の赤煉瓦の一軒家に據つて抵抗を續ける敵陣に飛び込み忽ち二名の敵を斬つて捨てたが、右大腿部に盲管銃創を受けた

長山木要中尉は戰闘指揮中敵彈を受けて名譽の戰死を遂げた

北支經濟開發に
經聯、政府に進言
先づ救濟事業着手

【東京國通】北支方面の治安は最近に至り頓に恢復しつゝあり、興中公司、東拓等は局部的にはすでに北支の經濟的開發に乘出すに至つてゐるが日本經濟聯盟ではこのほど北支方面の積極的經濟開發に關し政府當局に對し非公式ながら進言した、しかしてわが有力實業家を網羅して組織されてゐる日本經濟聯盟が右の如き經濟的開發につき進言するに至つた理由は、北支方面のすでに治安の恢復を見て經濟的恢復の時期が到來したものと觀測し、この時期に官民協力確固たる經濟開發計畫を樹立すべきであるとなしたによるもので、差當り戰禍による罹災民、農民、失業勞働者等の救濟に役立つやうな事業を興すことが必要とされてゐる

閘北の敵陣
殆ど覆滅

【上海廿三日發國通】艦隊報道部二十三日午前十時發表＝（一）海軍航空隊は二十二日午後一時遠く南支の英徳を空襲し、さらに公益潭江を爆撃せり、なほ韶關の飛行機製作所は數回にわたるわが海軍航空隊の爆撃により完全に潰滅せり（二）また連日反復攻撃を繰り返しつゝある閘北の空爆戰においてわが海軍航空隊は二十二日鐵路管理局、大夏大學、關東病院、公安局北站分局、朱家灣、平江公處等の敵陣および敵砲兵陣地を爆撃せり

“この足枷が”
支那軍を死物狂ひにさせた

去る津浦線滄州方面の激戰に於て一部の支那兵が極めて頑强に抵抗し我將兵をして感嘆せしめた事があつた、この暴兵の死物狂ひの頑强も道理九月廿一日わが長野部隊正面たる「人合庄」敵陣地にて鹵獲せる足枷が此の寫眞、是はトーチカ或ひは銃眼を設けた家屋戰に於て死守のため足に縛りつけられ、一端を棒杭にくゝりつけ退却させない樣にしたもので人道無視せる惡虐振りは全く呆然たる外ない

對日空氣冷靜
米國各方面の輿論

【ワシントン廿二日發國通】ルーズヴエルト大統領はさきにシカゴにおける演説において對日强硬態度を表明したが特別議會の切迫と共に政界の輿論は漸次保守的な傾向を示しつゝあり、九ケ國會議において米國が國際共同工作に指導的立場をとることには反對を表明してゐるためルーズヴエルト大統領の當初の方針は幾分變更されるに至つたと解される、すなはち議會方面の空氣は孤立政策の放棄を極度に嫌ひ、殊に上院の錚々たる連中は大統領の極東政策を支持せず、他方國内の平和團體が政府の行き過ぎを糺彈してゐるため政府も最近は極東策につき再考慮をなすに至つたとみられる、一方民間の對日經濟ボイコット論も先週の猛烈さに引較べて漸次反動的に冷却し大統領のシカゴ演説以來一般の空氣は愼重の方向をたどりつゝあるやうである

山本要中尉戰死

【上海廿二日發國通】〇〇の戰闘において十七日部隊長を失つた〇〇部隊は十九日同方面の敵に對して部隊長の弔合戰を行ふべく猛攻を加へ、遂に十九日夕方にはその堅壘を奪取、見事部隊長の復仇を遂げたが、この戰闘に際し〇隊

人事往來

着京

▲山尾敏郎氏（滿鐵社員）二十二日來京ヤマトホテル
▲西田善藏氏（古河電氣）同
▲新居四郎氏（富士電氣）同
▲荒木宏氏（會社員）同
▲柏葉勇一氏（官吏）同國都ホテル
▲内藤政次氏（滿炭社員）同
▲小松宗六氏（三井物產）同
▲木村實氏（商業）同
▲坪川與吉氏（官吏）同國際ホテル
▲登水幸三郎氏（會社員）同滿蒙ホテル
▲山中三郎氏（同）同
▲秦芳太郎氏（同）同
▲兒玉正氏（巨師）同
▲中川豊治氏（會社員）同新京ホテル
▲齋藤正三氏（會社員）同都ホテル
▲中哲郎氏（官吏）同
▲手島文作氏（商業）同蓬萊ホテル
▲尾坂恭一氏（會社員）同
▲山田錢三氏（同）同富士屋旅館
▲木下秀致氏（會社員）同帝都ホテル
▲梅原小次郎氏（官吏）同

出發

▲奥田貞之助氏 廿二日奉天へ
▲西川虎吉氏 大連へ
▲細野敏勝氏 同
▲田村半三氏 同
▲脇山常之助氏 哈市へ
▲恒屋瀬氏 同
▲久保彌太郎氏 奉天へ
▲栗木秀顯氏 哈市へ
▲島田千代治氏 同
▲高田邦之助氏 奉天へ
▲小島森次郎氏 哈市へ
▲湯屋猷司氏 哈市へ
▲平田軍兵衞氏 四平街へ
▲三浦龜忠氏 奉天へ
▲三谷清氏 吉林へ
▲山下寬氏 本溪湖へ
▲中田英太郎氏 奉天へ
▲森澤泰祐氏 同
▲柏村直香氏 同
▲加藤憲二郎氏 哈市へ
▲大久保弘治氏 敦化へ
▲坂水梧郎氏 同
▲井上理吉氏 同
▲今元盛市氏 吉林へ
▲關家省氏 同
▲山本勝美氏 奉天へ
▲中川信正氏 同

その日〳〵

□
九ケ國會議にわが斷乎たる態度聲明、それは既定のコース決定的な方針だつた
□
東洋永遠の平和確保、それを事實で證明し、列國無用の論議を封ずることである
□
情勢の動きにつれて外蒙問題が新しく脚光を浴びる、策謀の馬脚も現はれるか
□
過ぎてゆく十月を、武道の會あり、美術の催しあつて賑かに飾る
□
菊花にしみ透る陽光のあたゝかさ、巷離れてひとゝき靜かに想ふもよい

非常時銃後の意氣
鄉軍武道戰開幕
秋晴れの八島小學校々庭に
競ふ二百の鬪志旺ん

在鄉軍人新京聯合分會武道大會は靖國神社大祭の佳日を卜し本日午後零時半より八島小學校に於て盛大に擧行された定刻秋天晴朗な校庭に非常時局下の銃後を双肩に負ふ鄉軍將兵二百餘名集合それに來賓役員百五十餘名を加へ開會式を行ひ一同東方を遙拜國歌を合唱し昨年の優勝者第五分會より優勝旗優勝カップを返還し大會委員長聯合分會副會長井上中佐の力強い訓辭があつて午後一時銃劍術、軍刀術一齊に勇壯な決戰が開始された【寫眞は優勝カップ返還式】

柔道無段者戰 出場選手決定

來る三十一日大通に於て擧行せられる滿洲柔道有段者會主催、第十六回全滿柔道無段者團體優勝旗爭覇戰に出場の滿洲帝國武道會新京支部の出場選手は左の如く決定三十日は民生部保健司藤田昌吉氏引率のもとに優勝目指して勇躍大連に赴くこととなつた

△A組監督○田中俊秀（電々）一級大將○藤森千秋（恩賞局）同副將○飯野一雄（電業）同中堅○森友孝（中銀）同四將○上野芳已（中銀）同先鋒○平田一郎（電業）同補缺○鵜殿壽春（武德會）

△B組監督○長谷川皓（中銀）一級大將○津田慶一郎（國際運輸）同副將○中村朝男（電々）同中堅○熊谷善知（郵政局）同四將○阿部隆（司法部）同先鋒○東條政雄（首都警）同補缺○吉田傳（電々）

治廢へ萬全期し最後的打合せ
全滿警務科長會議開催

治外法權撤廢に伴ふ關東局警察官の滿洲國警察への移管は中央警務司を初め全滿各省公署を中心とする現地に於てもそれぐ準備を進めてゐるが警務司では之が最後的打合せのため本月末、滿警務科長會議を開催して中央の方針を指示すると共に現地側の狀況を聽取し萬全を期すこと、なつたが而して警察官の移管に關しては當分の間現滿關東局警察機構をそのまゝ踏襲する方針で十一月初旬より第一次、第二次と漸次に移管を行ふ筈である

新舊兩文相に張總理等打電

今回の文部大臣更迭に對して張國務總理は木戸新文相宛に「謹んで御榮任を祝す」安井前文相宛に「御在任中の御厚情を深謝し切に御健康を祈る」と打電した又星野長官も新文相に「謹んで御榮任を祝し將來宜しく御厚誼を御願申上ぐ」前文相にも「御在任中の御厚配を拜謝し今後共に宜しく御懇誼を御願申上ぐ」と夫々打電した

西公園の首吊り

廿二日午後九時三十分頃西公園南西側亭附近に於て高さ九尺餘の白楊の枝に縊死してゐるルンペン風の男を折柄散策中の滿鐵社員が發見新京署へ屆出により土師警部補が檢視の結果毛メリヤスシヤツにズボンを著した身長五尺七、八寸位の半島人で所持品もなく身元不明である、死體は朝鮮人民會へ引渡した

幼稚園兒が傷病兵慰問

新京北安路ひのもと幼稚園の代表園兒廿五名は廿三日午後一時半福田 母等に付添はれ新京陸軍病院に皇軍傷病兵を慰問、キヤラメルやいたいけな手で造つた手工品を贈り、勇士達のたぐさめにもと一生懸命童謠、遊戯をやつて午後四時過ぎ病院を引きあげたがこの思ひがけない可愛盛りの幼兒達の見舞に傷病兵一同は感激してゐる

鮮人不正業者原地へ退去

阿片痲藥密賣者の掃滅を期して過般來領事館警察署に於て檢擧した不正業者中內、鮮人三十七家族は退去せしめる事となりそれぐ原地までの旅費を支給して廿三日午後四時新京驛發列車で一齊押送した

愛妻誘拐さる

本籍平安北道鐵山郡走[illegible]現住所特別市昌平胡同三一三翟泰山は同棲八年の愛妻中望愛（二八）が去月四日突如家出行方不明となり領警署に搜査を願出たが家出の原因は咸鏡南道生れ元普通學校訓導の職にあり思想犯の罪により職を辭し以來婦女を弄して生計の資料とする無賴の徒龍時威（三三）なる者の甘言に乘せられて誘拐されたものであると、尙中は目下濱江省綏化縣綏化朝鮮人民會に居住せるものらしく照會中であ

けふから靖國神社大祭
忠靈塔參拜者で賑ふ

靖國神社大祭は二十三日から三日間東京に於て嚴肅に執行される、この日滿洲護國の英靈を祀る新京忠靈塔では參拜者のため午前六時から扉を開いたが、參拜者は扉の開くのを待つて續々と詰めかけ午前九時頃からは在京各部隊の團體參拜、引續き在京中小學校の團體參拜があり、十一時半には植田關東軍司令官が非公式參拜をなし其他在京各機關代表者、一般參拜者で終日賑つた（寫眞は小學校の團體參拜）

鐵道總局人事

鐵道總局表彰並懲戒委員會委員任免（鐵總人事課）

經理局長 參事 市川健吉

鐵道總局表彰並懲戒委員會委員を命ず

元鐵道總局文書課長 參事 人見雄三郎

元鐵道總局運輸局運轉課長 參事 園田一房

鐵道總局表彰並懲戒委員會委員を免ず（八月廿七日）

鐵道總局文書課長 參事 菅野誠

鐵道總局表彰並懲戒委員會委員を命ず（十月十一日）

赤手の毒及に泣く
樂土滿洲を憧憬
脫走の二朝鮮人談

ソ聯當局の苛斂誅求に敢然起つたソ領極東地方在住朝鮮人の反ソ運動は支那事變勃發によつて一層拍車を加へた結果ソ聯取締官憲の暴壓は日々熾烈を極め、赤手の毒刃に痛ましくもさいなまれ呪咀怨嗟の聲國內に渦卷き、凄慘圖繪を描き出してゐるが、最近死を賭して虎口を脫出、巧みに國境線を突破した二名の朝鮮人はソ聯の非人道極まる彈壓ならびに國內の暗黑面につき左の如く語つた

ソ聯を勞働者、農民の樂園と信じて入ソしたニコリスクの西方二里のタラントン開墾地に入り、露人經營の農場において新田掘割人夫となり、日の出から日沒まで酷使され、僅か一留五十哥（十五錢）を給與されたのみで絕望的な幻滅を感じた、その後露人の水田を小作して一安心したのも束の間水田は昭和三年國營農場に編入されたため、收穫劑納附制度となり、更に勞働組合制度、共同農場制度となつて飽くなき搾取を蒙り平年作以下の時等は收穫物全部を沒收し、指定數より多いと翌年からは義務量を激增せしめ、萬一指定量に達しないと主任は處罰され組合員は饑餓線上に泣いてゐる、その上ゲ・ペ・ウの監視の目は寸時も離れず、共同農場の收穫が計畫量に達しなかつた理由で黨員李監督は反ソ分子として極北に流刑され、その他逮捕されて生死不明となつたものは枚擧に遑がない、かくて反ソ氣分が在鮮人間に釀成されてゐる折柄支那事變が勃發して鮮人間の反ソ意識は逐日燎原の狼火の如く熾烈となつた結果ソ聯官憲の彈壓はいよいよ熾烈となり檢擧につぐ檢擧の嵐吹きまくり村ソヴィエト議長以下黨員等も逮捕銃殺されるなど在ソ全鮮人は全く戰慄と恐怖の暗國境を彷徨してゐるが、へ強制移住に際しても銃劍を突きつけて貨車に押込める等四人よりも非道な扱ひを受け一年間辛苦の收穫を前に農作物を放棄して續々大量に輸送されつゝあり今や悲慘な鮮人同胞は望鄕の淚に暮れ、或る者は傳へ聞いた王道樂土の滿洲國への憧憬の念にかられてゐる

喫茶パレス一同から
國防獻金の寄託
冗費節約、廢物利用から釀金

沖城吉氏の經營する日本橋通りの喫茶店パレスではかねて支配人始め從業員一同が冗費節約、廢物利用による獻金を申合せ實行中のところ、馬車賃節約や煙草の錫紙煙草の吸殼などを賣却したのが漸く十數圓に達したので恰も同店開業四周年に當り廿三、四、五の三日間自祝を行ふを機に店主沖氏の釀出を得て金五十圓に纏め二十三日午後支配人が來社國防獻金として寄託した

亡妻忌明に獻金寄託

國都建設局土木科員川金平太郎氏は先に妻女タキさんを亡ひ去る十六日が忌明に當り葬儀、際世話になつた人々や貰つた香典返しを行ふ筈の處、時節柄それを取止め、各所に供養の寄附を行ひ尙兵隊さんにお菓子でもといふので二十三日午後本社へ來訪、金二十圓を寄託した

滿洲採金會社
新五ケ年計畫
ドレッヂャー二十一隻建造

滿洲採金會社では五ケ年間二億一千萬圓の採金を目標に新鋭ドレッヂャーの建造、編隊の調査等北滿採金地帶において積極的な活躍を續け來つたが、滿洲產業開發計畫所要資金の可及的速かな現地調辨主義に即應するため、右五ケ年間二億一千萬圓計畫を更に二億九千五百萬圓に增加すべく鋭意具體案を練つてゐたところ、この程成案を得たので愈々來年度より新計畫の遂行を期して飛躍的活動を開始することゝなつた、即ち該計畫によれば康德五年度に十立方呎ドレッヂャー十隻、六年度以降每年五隻宛、計廿五隻を建造本年度分六隻（內四隻は未運轉）と、もに合計卅一隻のドレッヂャーを北滿採金地帶に活躍せしめんとするものである、しかして來年度分十隻のうち二隻は既に發註濟みで殘りの八隻も順次發註することになつてゐる故明年雪解以後は十六隻のドレッヂャーが黑河、呼瑪河、琿春等で活躍する筈である

レ男爵公主嶺へ

滯京中のレビー男爵は二十三日午前十時の列車で公主嶺滿鐵農事試驗場視察に向ひ午後三時の列車で歸京した

女巡查
東京市に出現

【東京國通】警視廳では警官の出征續出に對處し超非常時帝都警備の完璧を期すべく今回他府縣に率先して
一、婦人警察官の採用
二、男子警察官の軍事訓練施行
を實施すべく目下計畫立案中である、その骨子は治安維持には專ら婦人巡查が當り男子警官は監視哨の操作と高射砲の操縱訓練を行ひ專ら帝都防空に當らしめんとするものであるが、その第一着手として各警察署內勤巡查や廳內の比較的適任と思はれるものから婦人警官にその席を讓る筈

獻金美術展
けふから公會堂で蓋あけ

今年の美術シーズンも終らうとする其最後を飾つて廿三日から三日間新京美術協會では國都の美術家を總動員して第四回秋季展覽會を記念公會堂に於て華々しく開催した、同展は國都美術ファン待望のもので出品作は數百點非常時を反映した作品も多く又時局に鑑み同會は入場料十錢を徵收これを國防獻金に充てることゝなつてゐる【寫眞は本日から開催された會場】

三百五十圓持つて行方不明

特別市西五馬路白雲アパート渡邊彌十氏方使用人現住所永樂町三丁目田澤定夫（二九）は廿二日午前六時頃職人支拂の賃金三百五十圓を所持外出したまゝ歸宅せず行方不明となつたので廿二日渡邊氏より領警署へ搜査願出があつた

觀光協會秋總會

新京觀光協會秋季總會は二十七日午後一時より記念公會堂階上講堂に於て開催
一、經過報告
二、本年度實行豫算の件
三、會則第二、第三、第四、五條變更の件
四、理事三名追加の件
を審議することゝなつた

吉林演奏 滿鐵ブラスバンド

吉林鐵路局及び滿鐵社員會吉林聯合分會の時局克己週間、愛國節約週間、私生活改善週間の最終行事として二十三、四兩日音樂と映畫の夕を催すことゝなり同音樂演奏のため新京滿鐵ブラスバンド加藤指揮者以下メンバーは二十三日午前十時半と午後三時の列車で吉林に向つた、なほ同ブラスバンドは赴吉を機會に二十四日小松原部隊の慰問演奏を行ふ筈である

寄附二つ

元滿鐵新京支社庶務課長兼地方課長事務取扱菅野誠氏は離京にあたり新京福祉委員助成會、新京教育獎勵會に金一封を寄附した
▲范家屯滿鐵事務所小澤春三氏は新京教育獎勵會に金一封を寄附した

十文字屋開店

東二條通子供婦人洋服店主赤垣氏は業務擴張中の處愈よ竣成したので廿四日より開店する事になつた、尙開店記念として廿四、五、六日の三日間大賣出しを開催する

日本基督教會

一、日曜學校 午前八時半
一、聖書學校 午前九時四十分
一、朝の禮拜 午前十時半 說教「天使と惡について」 武藤長老
一、夕拜 午後七時半 說教「時局とキリスト者」 桑數秀二

日の出を拜す集ひ

明日の日曜新京の日の出時刻七時三分、西公園誠忠碑前で集ひ市民早起會同右終つて忠靈塔參拜

救世軍日曜講壇

新京救世軍滿二周年記念集會午前十時半、傳道集會題「迷へる羊をかえ」午後八時 名越大尉 來聽歡迎

メソヂスト教會

一、日曜學校 午前五時
一、日曜禮拜 午前十時十五分 說教「我等は何を見る」 山口牧師
一、夕拜 午後七時半 讚美歌練習、傳導說教 山口牧師

馬車內の拾得物

▲十月十五日森野商店內（藤口金一圓五十錢在中）新京警察署保管▲同日同所（赤革製六折財布金五十一錢、外認印一外雜品）同▲同日同所（國幣五圓）同▲同日同所（ラシヤ製二ツ折小型財布金六十二錢在中）同▲十八日八島通り四九番地先（綠色六折財布金四圓在中）同▲十九日特別市永春路豆タク車庫內（空色革製二折財布金參圓四十四錢在中）同▲同日山吹町二丁目、赤革製財布金參圓七十參錢外雜品在中）同

あす（廿四日）

▲本庄大將離京、午前七時（飛行場）
▲滿洲馬術大會、午前九時、西公園運動場
▲全滿武道大會劍道大會、午前九時、大經路小學校
▲菊花即賣展、午前九時—午後四時、西公園事務所
▲美術協會展、公會堂
▲美育會小品展、寶山
▲臨時競馬第六日（最終）

◇今晚の主なる演藝放送◇
▲八・〇〇物言はぬ戰士の夕（東京）服部正外▲九・〇〇連續講談「笹野名槍傳」（東京）大島伯鶴

御禮

新京在勤中は公私共御世話に相成り誠に有難く奉謝候本日は離京に際しては御繁忙中態々御見送りを辱うし恐縮に存じ候御挨拶洩れもあることゝ存じ畧儀乍ら紙上を以て御禮申上候 敬具

十月廿三日 菅野誠 千代

新京區公示第二十二號

新京附屬地荷馬車通行取締規定左記ノ通制定セラレタルニ付公示ス

昭和十二年十月一日

南滿洲鐵道株式會社新京支社地方課長事務取扱 菅野誠

記

新京附屬地道路ヲ專用道路ト制限道路ノ二種ニ區分シ左記ニ依リ荷馬車ノ通行ヲ制限ス

一、專用道路ハ荷馬車ノ種類索引馬ノ頭數ヲ問ハス自由ニ通行シ得ルモノトス
二、制限道路ハ鐵輪荷馬車ノ通行ヲ絕對ニ禁止シ左記ニ該當スル荷馬車ノミ通行ヲ許可ス
イ、ゴム輪（又ハ之ニ準スルモノ）ナルコト
ロ、積載量壹噸半以下ナルコト
ハ、索引馬ノ頭數ハ壹輛ニ付壹頭ナルコト
三、但シ驛前廣場ノミハ荷馬車ノ通行ヲ禁止ス
四、六米突以上ノ長大物ヲ運搬スル場合ハ荷馬車ノ種類通行道路ノ如何ヲ問ハス警察署ノ許可ヲ受クヘシ
五、荷馬車以外ノモノニシテ道路ヲ破損セシメ又ハ通行妨害ノ虞アルモノノ通行ニハ許可ヲ受クヘス
本規定ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ實施ス

昭和十二年十月一日

新京警察署
滿鐵新京支社

松竹京都の 秋の作品

松竹京都の秋の作品としては岡本綺堂の名戯曲を巨匠多島泰三監督が田中絹代、林長二郎の大顔合せによつて映畫化した絢爛篇『番町皿屋敷』の超大作を始め、本郷秀雄、北見禮子の主演に高田浩吉が特別出演し名匠星哲六監督が全力傾注の傑作『狼火』高田浩吉、白河富士子主演の『白夜の血陣』、大衆文壇の雄川口松太郎氏の傑作を俊才大曾根辰夫監督が坂東好太郎、岡田嘉子の初コンビによつて映畫化の『花吹雪お静禮三』雜誌「日の出」連載、大佛次郎原作『緋牡丹傳奇』行友李風原作『幕府奇兵隊』、玉江龍二脚色の『御赦免船』等の大作揃ひは名實共に大松竹の名に相應しき豪華堅陣の壯觀さで有る

よきパートナー依田義賢が、苦心に苦心を重ねて脚本執筆中であつたが、原作者丹羽文雄氏溝口監督とも再三に亙る愼重打合せの結果第一稿第二稿と推敲を重ね遂に第三稿に到つて、決定版となしこゝに漸く完成を見るに到つた、キヤストは目下非常に細心なる檢討のもとに選定中であるが愈々待望のこの大作も近日着手の段取に至るものと見られてゐる

新興、伏見姉妹と絶緣

伏見直江、信子姉妹は本年四月映畫から舞臺に轉向し各地を巡演してゐたが、依然として新興東京撮影所俳優部に籍があつたので『明朗新興』を建前とする六車新所長は、かゝる不徹底な關係は直に解消すべきであるとして、伏見姉妹に對し正式絕緣を申し渡したと

新興「母よ安らかに」配役

新興東京の俊英田中重雄監督が問題作「美しき鷹」に次いでクランク開始と決定した如月敏原作脚色のオリヂナル大作「母よ安らかに」は崇高な母性愛を中心に現代社會の痛烈なる諷刺を試み、日本新道德の樹立を誇らんとする野心篇にして、久々の山路ふみ子のヒロインと新人「藝術萬能選手」黒田達夫を相手役に拔擢する他、至寶幹部の砲列に「各作品毎に新人拔擢」のモツトーによつてデヴユーする八重垣小靜等、絢爛無比のキヤストが次の如く決定、直ちに本讀みを行ひ、撮影に着手することゝなつた。

藤村玲子（山路ふみ子）欽一の妹小枝子（久慈行子）バアのマダム良江（高野由美）實業家藤村正行（大井正夫）ピアニスト黑田欽一（黑田達夫）夫人正子（歌川八重子）書生内田三省（田中春男）書生大塚（中村順一郎）玲子の生母さき子（田中筆子）小間使志津子（八重垣小靜）明野男爵（大川修一）

「薔薇合戰」依田の脚本脫稿

新興東京溝口健二監督の次回作「薔薇合戰」は溝口監督の

ダイヤ街すみれのお柳、昭七組で古顔だ、昭七組とは昭和七年長春が新京となり國都となるとソレ行けつてんで、大連の小川席が進出して來た先鋒隊の一人、千代龍〳〵でずいぶんこの欄の材料になつたものだ、足かけ六年、もふ消へてなくなつたとばかり思つてたところ、こないだ偶々馬車を驅つてどこかへ行く姿を見たので、その噂をしたのが本人お柳の耳に入り、もふ消へたかは無いだらう、第一その馬車に乘つて變な方角を通つたといふなア人違ひだ、あたしやアそんな方角に行つたことは無い、樣子のいゝ女をみるとみんなあたしに見へるんだらうと物凄い鼻息だつたさうだ、それから人違ひするなんてどうかしてるよそれといふのもお柳さんの正體を近く寄つてしみ〴〵拜まないからさ、たまにやアダイヤ街のお柳大明神へ參拜したらいゝとイヤハヤどうも（すみれのお柳）

三中井百貨店の 一周年記念大賣出し始る

三中井百貨店では本館落成開業一周年記念賣出しを二十三日から一週間に亙つて盛大に行ふが、日露の戰雲急なりし明治三十八年一月大邱に於て三中井商店を創業したるに初まり漸次半島の邦人增加と四十三年八月、日韓併合の御詔勅渙發あらせられ鮮内の諸政治の進展するに及び四十四年三月京城に進出し三中井吳服店を開業以來地方の發展に順じ全鮮主要都市十數個所に支店設置大正十一年二月將來の飛躍に備へる爲め株式會社組織を改め、本社を京城に置き資本金二百萬圓（全額拂込）を以て創立し昭和四年二月時代の趨勢に依る百貨店營業の企圖成るに及び一百萬圓を增資し昭和八年京城、平壤、大邱、群山と相次ぎ新館落成し本格的デパートの陣容を整へ爾來益々その基礎を固め同八年十二月新興滿洲國への進出を計畫し先づ新京に乘り出し日本橋通りに開店同十年現在の大同大街に建築を初め昨十一年の本月本日（十二月二十三日）落成したもので最近は大連の支店も新築落成開店し家庭經濟の强化を圖ることが百貨店業者の使命なりと逸早く提唱し東亞を活舞台として日に月に躍進また繁榮しつゝあり、來年は更に現在の本館に隣接し更に增築の計畫もあり大三中井の將來こそ期して待つべきものあらう、今回の賣り出しは一周年を喜ぶ自祝的の催を一切廢し一般顧客に謝恩奉仕する意味で全商品破格の割引殊に謝恩日用百貨三品一圓大會などがあり人氣を呼んでゐる

雜音

帝都キネマ今週のメトロ三本立は見事決つた形で初日以來好調に客足を惹いてゐるが、洋畫全プロもこれ丈けのスターが揃つてゐてこそ成り立つたもので、今後の此處に洋畫全プロは望めないかも知れぬ▼二十九日から「旅順港」と併映される筈であつた「我は海の子」が、どうやら未公開になるらしい形勢にある、としたらメトロ映畫も今週限りでさよならだ▼アメリカものに代つて歐洲ものが賑やかに入つて來るであらうが、入るは入つてこれをどこまで消化し得るかゞ又今後の研究の余地を作らう▼豐劇の「海の魂」は打込みからいゝ客足を見せてゐる樣子、最後のパ社作品豐劇にしてみても大いに入れて見たいといふ氣持に惜別の情愛が籠らう

日曜	舊十一月
甲申	廿一日
大安	廿四日
開	一四日
虛宿	日

●一白の人 運氣好轉の兆あるも急功を望むは不利なり 乙と庚と辛が吉
●二黑の人 昇り掛けた階段も途中に足を踏み外す如し 甲と丙と壬が吉
●三碧の人 調子に乘り過ぐる時は運氣逆轉するに至る 乙と丙と丁が吉
●四綠の人 小事を輕視して大局を不利に導くことあり 庚と辛と壬が吉
●五黃の人 勞多き割合に功少なき日氣折せず進むべし 丙と壬と癸が吉
●六白の人 相談契約は大なる悔を遺すべし後日に讓れ 甲と丁と辛が吉
●七赤の人 成功は多少後るゝとも念には念を入るが吉 丙と庚と酉が吉
●八白の人 人を賴みて豫期に反すること多し文書注意 丙と丁と癸が吉
●九紫の人 勞苦の汗も夕暮に流す行水の樂みある如し 乙と壬と癸が吉

滿鐵の濕地乾拓は 白溫・京白沿線で
先づ約五萬圓を投じ調査實施

滿洲國政府と協力、國內四百萬町歩の濕地乾拓に乘出してゐる滿鐵では、まづ白溫、京白兩線沿線および洮兒河流域濕地廿萬町歩を約五萬圓の調査費を投じ調査に當ること〻なつたが、一方産業部農林科の二星豊彦氏は約六ヶ月の豫定で北米合衆國およびカナダに出張し、濕地乾拓を研究するため來月中旬渡米すること〻になつた

金融合作社の業務 快速なる發展
——農民層への進出顯著——

九月中における金融合作社の業務現況をみるに預金及び定期積金九百四十八萬五千圓、貸付金三千二萬八千圓、借入金三千五百四十三萬七千圓でこれを前年同期に比すれば預金及び定期積金において四百四十四萬を、貸付金においては千七百卅九萬を增加してゐる

△金融合作社業務概況（四年九月末現在）

	（本年九月末）	（前年同期）
△負債		
社數	一〇三	一〇三
社員數	二三三、〇四四	一三三、七七三
出資金	一、七二三、五三〇	七一〇、〇九五
諸準備金	五九八、〇九九	一五七、五七九
政府貸下資本金	二、〇六〇、〇〇〇	二、〇三〇、〇〇〇
借入金	三五、四三七、四四五	九、二九一、五六〇
預金及定期積立金	九、四八五、四七一	四、八四五、二四一
雜勘定	二八八、五四七	七三、五五六
利益金	一、一七四、一三六	一、三九二、九六五
合計	四〇、三五六、一一一	一八、四九〇、〇九八
△資產		
未收出資金	九三六、三二四	五〇一、五九一
貸付金	三〇、〇二八、二六一	一二、七四〇、六八〇
管理金	三、一四六、九四一	一、三三〇、五九四
預金及郵便預金	二、八一八、六七六	二、二七七、三五九
雜勘定	一、四七二、三五五	四二六、七三〇
損失金	一、六九七、三九一	一、一二三、七一七
現金	三五六、三六二	九一、四三五
合計	四〇、三五六、一一一	一八、四九〇、〇九八

いま主なる勘定をみるに預金及び定期積金において大約倍增し、貸付金においても二倍以上の激增を示して業務範圍の快速的發展を如實に語つてゐるが、就中社員數が培增したのは同社の農民層への進出を示するものである

利益金が約廿萬圓餘の減少を來したのは政府の經費補助金が昨年の六十七萬圓より本年の二十八萬圓へ減額されたためであり、損失金の增加は業務擴張に伴ふ經營費の增加に基くものである

哈爾濱市公署 物價對策委員會

今次事變勃發以來哈爾濱市中物價は當局の物價抑制政策ならびに市內日滿露各商工團體の自肅自戒、時局に善處方申合せ等により略々順調な推移を見せてゐるが、市公署では今後の時局の發展性に鑑み萬一に備へて省、市兩公署、鐵路局、領事館、その他日滿露商工團體、金融機關、特産商等より成る時局物價對策委員會を組織、物資の需給ならびに物價問題につき調査審議の上適宜有效なる對策を講じて市民の消費生活の安定をはからしめること〻なり、廿一日午前十時より市公署會議室に韋市長以下委員廿九名、顧問二名出席して時局物價對策委員會を結成、引續き第一回會議に移り今後の活動につき種々協議を行つた

滿炭資金工作に 重役近く上京

先般滿鐵重役會議で決定を見た滿洲炭鑛五ヶ年增産計畫に伴ふ所要資金增額は二億四千萬圓に上る見込で、これが調達方法については近く滿炭側より重役が上京、他方滿鐵よりも佐々木理事が東上して財界方面と折衝することになつたが、目下のところ社債五千五百萬圓、株式拂込一億七千萬圓、利益金一千五百萬圓をもつてこれに充當する模樣である

農事合作社方針に 奉天特産業者 贊意を表す

農事合作社の糧棧、特産業者等に及ぼす影響については全滿各地の業界に一時は死活問題として宣傳され奉天省においても全省商務會聯合會が緊急臨時總會を開催、對策協議の結果政府當局宛て總會の諮詢事項ならびに意見書を提出したが、この程當局より詳細にわたり方針を闡明した回答に接し業者の憂慮する合作社事業の影響は單なる杞憂に過ぎないことが明かとなつたので反對意見も解消し寧ろ合作社運動に積極的に參加すべしとの要望が漸次擡頭してゐる 即ち政府當局より明示された方針は

一、合作社の配給機能は漸進的にこれを運用せしめる

一、配給方法は從來の取引方法の改善ならびに公平なる價格の實現を目的とするもので當分の間一般商品作物に對しては農業政策遂行上必要を認めるもの以外には調整的活動を行はない

右の如き方針のもとに現在の業者への影響を最小限に留めんとするもので之が具體的方法は大要左の如きものである

一、販賣事業に關しては先づ特需作物を中心とし亞麻、甜菜等にあつて製造業者と契約栽培による生産物受渡しの統制をなし、大豆、高粱、粟、包米、蘇子等の商品物については合作社經營にか〻る交易場を通じ取引の公正且つ圓滑を圖ると〻もに標準價格の決定等の場合には極力糧棧側の必要を尊重する

二、糧棧、特産商等に出來得る限り交易場の取引人たらしめ漸次取引業者の信用向上を圖る

三、購買事業では差當り專賣品等を取扱ひ既存營業者との摩擦を避ける

四、合作社側の支障なき限り糧棧等をして農業倉庫を利用せしめ合作側でも糧棧の現存保管施設を利用する

五、糧棧業從業員にして販賣檢査その他交易場業務等につき必要な經驗を有するものには出來得る限り合作社從業員として採用する

日滿柞蠶業者 奉天で懇談會

奉天省實業廳では今回柞蠶情況視察のため來滿の絹紬工業組合聯合理事高橋三郎氏ほか五氏を迎へ廿四日午前十時より康德俱樂部において竹內省次長、曹實業廳長以下農商關係者ならびに西豐縣柞蠶地帶の有力業者出席のもとに日滿柞蠶業關係者の懇談會を開催業界の將來および日滿業者の圓滑なる協調などにつき意見を交換すること〻になつた

哈爾濱でも 爲替管理座談會

哈爾濱商工會議所では日本および滿洲國の爲替管理強化に善處するため廿五日午後七時より商工ビル會議室に爲替管理法座談會を開催、議員約五十名出席、鈴木經濟部哈爾濱駐在員、河村、小野正金正副支配人よりそれ〴〵爲替管理法および爲替問題の說明を聽くこと〻なつた

支那事變と日支兩國の經濟（下）
支那戰時財政は窮乏

顧つて支那の戰時財政はどうか、去る五日ニューヨークタイムス紙の上海特派員は支那の財政現狀について次の如く報道した

上海における外國銀行筋の見解によれば南京政府の財政狀態は豫想以上に惡化して居り對日戰爭が今後六ケ月間も續けば支那の內外債は利拂不能に陷ることは必定である、既に海關收入は消失してゐるから南京政府の財政は地方の地租稅增徵以外には方途はなく、戰費は數ヶ月を出ずして缺乏を告げるであらう、云々

「支那の戰費は數ヶ月を出ずして缺乏を告げる」これが支那戰時財政に對する上海外國銀行筋の打診の結果の結論である、この結論は相當根據があるべきものと見るべきであらう

□

抑も戰費の支辨すなはち戰時財政を賄つて行くには三つの方法がある、一は增稅であり、一は軍事公債の發行であり、一は紙幣の增發である

右の三點に基き支那の戰時財政の外貌を一瞥して見るに先づ第一に增稅すなはち稅收入について見るに本年における支那の豫算面に計上された稅收入總額は八億三千四百萬元である、假りに南京政府が戰時稅十割といふ法外な增稅手段を講じても八億三千四百萬元の增收入を得るに過ぎない、しかもこ〻に看過することの出來ないのは支那財政上の大打擊は日本海軍の海岸線遮斷によつて外國貿易はもとより戎克貿易さへ不可能な狀態となつた

これがため支那の財政中最大の財源である關稅、即ち稅收入の總額の四四%强、全額にして一年三億七千萬元を占むる關稅收入は九月以降皆無に均しい狀態に陷つてゐるのである、上海々關の發表に基けば八月中の上海貿易は輸出入とも七月に比し半減以下に激減し、輸入は六割四分減、輸出は五割五分減となり、八月十三日以降は殆んど海外沿岸兩貿易ともに杜絕狀態にあり關稅收入は當分皆無に等しい狀態が續くこと〻ならう、また鹽稅、統稅等も著しい減收狀態にある、故に支那の全收入は平時よりも大激減の狀態にある、さらに鐵道收入の如きも主要幹線は殆んど軍事運送に使用されてゐるためこれまた皆無に近い有樣である、次に公債による戰費支辨であるが

□

先般南京政府が自由公債の名目によつて募集した五億元の軍事公債は發行以來一ヶ月を經過したが、その應募成績は頗る不良で今まで景氣のよさそうなことを書いてゐた上海の支那新聞も去る二十八日の社說及記事に於て自由公債應募額は一億五千萬元と發表されてゐるが、實際は六百萬元に過ぎないと報じてゐる、事變勃發以來の日本國民の陸軍獻納金が二千萬圓を突破し三千萬圓に垂んとしてゐるに支那の五億元公債の應募額は發行以來一ヶ月にして未だ六百萬元にしか達し得ないといふことは公債に因る戰費支辨が支那に於ては不可能であるといふことを說明してゐると共に、南京政府の政策が國民の支持を得てゐないといふことを立證するものでもある

□

最後に不換紙幣の增發であるが、おそらくこれが支那に殘された唯一の戰費調達方法であらう

しかし紙幣の增發は對外爲替相場にも關係をもつものであり且つ紙幣の增發は物價を暴騰せしむる作用をもち、國民生活を困憊に導く原因を作るものであるばかりか自國の經濟を崩壞に陷れる危險性をもつものであるからその增發には自ら制限が加へられねばならない、支那紙幣發行準備管理委員會發表によれば九月廿六日現在の政府紙幣發行高は十五億四千四百萬圓餘で前月末に比し三千二百萬圓餘の增發を示してゐる、この外戰費支辨の窮餘の策として回收濟みの舊紙幣を私かに再發行したものも相當な額に達してをり、斯樣な事實の暴露に伴ひ支那紙幣に對する信用性は漸次低下しつ〻ある

□

以上は主として支那の戰時財政について論じたのであるが、更にも一つ支那の長期戰爭に堪へ得ない大きな事實がある

それは武器、彈藥の補充問題である、日本海軍の海岸遮斷以來一般貨物の輸入杜絕と同樣鐵製品、化學製品および武器、彈藥の輸入は完全なる杜絕狀態にある、これがため支那は武器、彈藥、軍需品の補充不可能な狀態に遭遇しつ〻ある、先般急遽歸國したボゴモロフ駐支ソ聯大使の行動は極めて注目さるべきものがあるが、傳へられるところによればボ大使の急遽歸國の理由は現在の戰況をもつてすれば支那軍は後二ケ月しか戰爭を持ちこたへ得ない實情にあることが判つたゝめであるといふ、支那側が如何に武器、彈藥の補充に狂奔してゐるか、而して今やその斷末魔に立たんとしてゐることがこの一事からも推測することが出來る

要するに戰爭が長期に亘れば財政的に破綻するのは日本でなくして南京軍閥政府である

商況欄（二十三日前場）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	七磅〇志八片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片八分七
同先限	一九片一六分三
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	五〇留比四分三

▲外國爲替

品目	相場
英米爲替	四弗九五仙一六分三
米日爲替	二八弗八九仙
米支爲替	二九弗六〇仙
英日爲替	一志二片〇〇〇
英支爲替	一志二片八分三
印日爲替	七七留比二分一
スチール株	五七弗八分五
アナコンダ株	三〇弗八分一

▲市俄古小麥

限月	相場
十二月限	九七仙八分七
五月限	九七仙八分七
七月限	九二仙〇〇〇

▲紐育棉花

限月	相場
現物	八仙四九
十二月限	八仙二九
一月限	八仙三〇
三月限	八仙二六
五月限	八仙二七
七月限	八仙二七
十月限	八仙三九

▲印棉

品目	相場
ブローチ	一六五留〇〇〇
オームラ	一四三留比四分三
ベンゴール	一三九留比四分一

▲カルカツタ麻袋

品目	相場
當筋	二四留比一六分七
先筋	二二留比〇〇〇

▲阪神爲替

品目		相場
對米	賣	二八弗一六分二
	買	二八弗四分三
對英	賣	一志二片〇〇〇
	買	一志二片ノミナル

▲滿洲中銀爲替

品目	相場
上海向	九四弗〇〇〇
天津向	九四弗〇〇〇
紐育向	二八弗八分七
倫敦向	一志二片〇〇〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲大連株式

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日運	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸

限月	寄付	大引
十月限	二三九〇〇	二三九七〇
十一月限	二三九一〇	二三九九〇
十二月限	二三七九〇	二三八七〇
一月限	二三七〇〇	二三七七〇
二月限	二三六七〇	二三七八〇
三月限	二三六八〇	二三七六〇
四月限	二三六〇〇	二三七三〇

▲大阪棉花

限月	納	會
當限	[illegible]	[illegible]
先限	五八二〇	五八三五

▲大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	六三四〇	六三一〇
先限	六七七〇	六七七〇

▲大阪期米

限月	寄付	大引
當限	三三九	三三九
中限	三二六〇	三二六六
先限	三二四八	三二五三

▲横濱生糸

限月	寄付	大引
現物	七七〇	—
當限	七五三	七五五
先限	七三〇	七六八

各地特産市況

▲新京

品目	寄	引	出來高
現物 大豆	—	—	
高粱	—	—	
米高粱	—	—	
小豆	—	—	
玉蜀黍	—	—	
包米	—	—	
先物 ●大豆 十月限	五、七〇	五、六五	一四車
十一月限	五、六〇	五、五三	三一車
●高粱 現物	—	—	
當限	—	—	
先限	—	—	
十月限	—	—	
十一月限	—	—	

▲大連

品目	寄付	大引
●大豆 袋入	六、六五	六、五五
十月限	六、六三	六、五〇
十一月限	六、四六	六、三七
十二月限	六、四〇	六、三七
一月限	六、四二	六、三三
二月限	六、四五	六、四三
三月限	—	—
●豆粕 現物	三、七〇	三、七〇
十一月限	三、一五	三、一五
十二月限	三、〇〇	三、一〇
一月限	三、〇〇	三、〇五
二月限	—	—
●豆油 現物	一八、〇〇	一八、〇〇
十一月限	一七、〇〇	一七、〇〇
十二月限	一六、五〇	一六、五〇
一月限	一七、〇〇	一七、〇〇
二月限	—	—

青春の宿（一八）
須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

この感情（五）

話は、主として千鶴子と耀子の間にかはされ——しばらくは讓治は、置き忘れられた形だつたがやがて、千鶴子は遠慮深さうにいつた。

『それでは……あの、わたしお仕事に差し支ますから、これで失禮さして頂きますわ』

『さう——では、これからわたくしとも親しくして下さいね』

耀子は、千鶴子の手をさらんばかりにして

『わたしも、お宅へ伺ひますから、あなたもお遊びにいらつして下さいな』

『ありがたうございます』

千鶴子は、讓治に向つて小聲に

『兄さん、すぐお歸りなさる……』

『うん——まだ、ちよつと、用みごとがあるから、それが濟んだら歸る』

『さう——では……』

千鶴子は、もう一度、耀子に會釋して、そこを出ていつた。

さ——耀子は、心もち濡れた目で、ぢつと、讓治をにらむやうにみつめてゐたが

『嘘つきね、あんたは……』さ、怨めしさうな聲でいつた。

『わたし、嘘つき大きらひ——』

讓治は、面映ゆさうに、眼を伏せたが

『お妹さんから、みんな、きいたわ』

さいふ、耀子の言葉をきくさ、讓治は思はず、心から

『すみません——』の聲でさういつた。

『わたしには、詫びることはないわ……でも、妹さんや、お母さんには、ほんたうにすまないぢやないの……わたしなんかど、こんなことをいふのは、をかしいかも知れないけれど……でも、あの純な妹さんが、兄はこれから、あたしたちと一緒にゐてくれるといひますから、ほんたうに喜んでゐますの……さ、仰有つたさきは、わたし、泣けてしまつたわ——だから、こんなこともいふのだけれど……讓さん、あんた、ほんたうに、お母さんや、妹さんの側に、ゐてあげるさい〻わ。妹さんから、くわしいことを聞いてから、あんたが、いまのやうな氣持になつたのも、無理はないさ思ふけど……』

『ありがたう……僕も、そのつもりでゐるんです……』

『ほんたうなの？』

『ほんたうです……それは、普通なら、一度改心したつもりでも、さんな拍子でまたもとへかへらぬとも限りませんが……その點では、自分にも信用がありません……實はけさ母から父の遺書さいふのを、始めて見せられて父の爲に、復讐しなければならないことを知つたので、また、もとに返るやうなことは、斷じてありません……』

『復讐つて……なんなの』

讓治は、不用意にいつてしまつた言葉に狼狽して

『それは、聞かないで下さい。決して、人殺しをしたりなんかすることではないのですから……』

耀子が、うなづくのをみて

『それについて、あなたにお願ひがあるのですが……實は今年の一月滿洲から歸つて來たさきも昨夜、話しましたね柚木さいふ宗教家……あのひさの敎化で改心して歸つて來たのですが、眞面目な仕事に就かうさ思つても保證人のないことやなにかでどこでも使つてくれるものがなかつたのですが……こ〻でも、あるひはほかでも、あなたのお父さんの關係してゐらつしやる會社に、働かして貰へないでせうか』

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和十二年十月二十四日　新京日日新聞（日曜日）　第五千三百號（一）

新京日日新聞

朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓（郵税一ヶ月拾五錢）
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局専用(3)三二〇〇 營業局専用(3)三二〇五
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越内之介

新手後續部隊現はる
北四川路前面の敵移動開始

【上海廿三日發國通】北四川路前面の支那軍は廿三日午前五時全線にわたる移動を開始し、新手後續部隊と交替を行つた模樣である

【上海廿三日發國通】連日にわたる海軍航空隊の猛烈な爆擊と陸戰隊精銳部隊の猛襲に怯え切つた北四川路前面の敵は最近とみに戰意を喪失、督戰隊の暴威をおそれて僅かに表面を糊塗する戰闘に終始してゐるが、今朝いよいよ新手の部隊と交替したものとみられる

敵陣地に猛烈な反復爆擊

【上海廿三日發國通】今村、千田兩主力部隊の〇〇機は廿三日早朝より陸戰隊の作戰と協力閘北、江灣および浦東の敵陣に數回に亘り反復爆擊を加へた

【上海廿三日發國通】廿三日早朝より〇〇部隊の一部〇機は南翔、大場鎭、嘉定附近の敵陣地に猛烈な反復爆擊を敢行したが殊に大場鎭西方の敵野砲主力陣地に巨彈を浴せこれを徹底的に破壞した

南京、安慶を襲ふ!

【上海廿三日發國通】わが海軍精銳部隊は廿三日午後零時半から澄渡る秋空に鵬翼を連ねて長驅南京に至り支那街の軍事施設に徹底的爆擊を加へ、又千田部隊〇〇機はこれと呼應し大校場飛行場その他の軍事施設に爆擊を浴びせ全機無事歸還した、なほ他の一部は安慶に飛び飛行場に巨彈を浴びせ大打擊を加へ、千田部隊の中野少佐指揮の〇〇機はこれと呼應して安慶市街の諸軍事施設に爆擊を加へた

相次ぐ我猛爆擊に
南京、恐怖時代を現出

【天津廿三日發國通】最近南京から歸還した某外人はわが陸海軍飛行機の的確を極めた猛爆擊に恐怖時代を現出した首都南京の狀況について左のやうに傳へてゐる

軍事施設を目標とする日本側の空爆は完璧に近い正確さをもつて命中し政府當局は周章狼狽なすところを知らないが、防空警報を發した場合には外出を一切禁じてゐる

これに違反したものは銃殺するほか南京郊外から市中に入る者には峻烈な身許、服裝檢査を行つて遠慮會釋なく處分する等恐怖政治を斷行してゐる、市民はどんどん南京を脱出して南京の人口は僅か廿萬に減少したが、官吏、黨部員等は脱出するを許されず恐怖に慄いてゐる

嚴然、怒濤の大海原壓し
勇猛荒鷲懷に我艦隊の活躍

【〇〇艦上にて廿三日發國通】〇〇司令長官の統率するわが第〇艦隊の作戰行動は兵の家族と雖も知る由もないのであるが記者は名譽ある同艦隊に從軍して親しく將兵等の[illegible]心の態を見、盡忠報國の[illegible]を目のあたりにみて非常な感動を受けたのであつた[illegible]狂ふ怒濤が甲板に碎ける夜、陸上には螢火の影もみられぬ[illegible]前警戒の眞暗闇の中に將兵等はたゞ默々として部署についてゐる、南連雲港から北は山海關に至る何百浬の海上に[illegible]大海原に[illegible]一隻、戎克一隻出入りする隙もない嚴然たる封鎖が斷行されてゐるのである、聞けば津浦線泰安、兗州方面から隴海線徐州より海州連雲港に至る區間は同艦隊の空軍が連日果敢な猛襲を繰返して敵の軍用施設は勿論、機關車、列車、鐵道線路などを蜂の巣の如く破壞し去り、就中軍用機關車だけでも既に十數輛破壞し軍用列車無慮百數十輛を大破し、これを使用不能に陷らしめたが、敵はわが空襲を恐れて晝間は最早全く列車の運行を見ず徐州を中心とする隴海線とも殆ど交通遮斷の狀態に置かれてゐるとのことである、第〇艦隊空軍が如何に大なる威力を發揮してゐるかこの一事だけでも充分察することが出來る、かく海に、陸に、わが海軍の大活躍は續けられてゐるが、わが目的遂行の效果は着々抗日蔣政權の首を扼して致命傷を與へつゝある

海州を中心に 支那軍着々戰備を整ふ

【軍艦〇〇廿三日發國通】過般の連雲港爆擊および砲擊で埠頭其他の軍事施設を潰滅された支那軍は最近海州より范圩に至る臨港鐵道を竣工させ臨洪口に假埠頭を完成して海州を中心としてジャンクの航行盛んなるを認めるが濁水の溢れた各河川の運河に縱横に軍用品を輸送し新らしき陸の戰闘準備に忙しき模樣である

徐州の敵防空陣整備 江村大尉爆擊談

【軍艦〇〇廿三日發國通】連日わが航空隊の肉彈的大爆擊を敢行しつゝある津浦線および隴海線の支那軍の防備陣は非常に堅固で、大運河に沿ひ臺兒莊より徐家集への鐵道も完成し各都市の周圍は塹壕或は堀で圍繞され、精巧なる高角砲および機銃陣地も各所にあり、徐州および徐家集の陣地は相當に整備せるものと思はれる、二十二日江村日雄大尉の指揮せる〇機は徐家集附近にて敵彈を浴びたるも致命的なものは一彈もなく無事歸還したが江村大尉は

最近に至り支那軍の射擊は侮り難きものがある、廿二日軍艦〇〇の〇機は無數の敵彈を右翼に受けて歸還したが、機銃陣地の如きは到る處にあるらしい、勇敢なるわが飛行隊は連日急降下爆擊をなし多大の成果を收めつゝあるが、北方より退却を續けてゐる軍用列車へ爆擊を加へるといふことは難中の難にも拘らずよく成功してゐる、上空は寒氣激しく零下廿度といふこともあり手足が痺れて思ふやうにならないこともあるがこれからの空爆は敵彈および寒氣と鬪はねばならぬ

と元氣に語つた

新寧、粤漢鐵路各驛を爆擊

【香港廿三日發國通】わが空軍は二十二日午前八時から午後三時まで新寧、粤漢各鐵路に對して爆擊を敢行した、また〇〇機は午前八時半新寧鐵路、赤溪、公益埠を襲ひ公益埠驛に爆彈投下破壞、また同十時半わが編隊陣は英德、琶江の鐵橋、驛建物、線路等を爆擊、銀盞坳、樂昌等を襲ひ他の〇機は午後一時半廣三鐵路三水驛を襲ひ驛建物を爆擊して悠々歸還した

漢口日本租界に支那避難民殺到

【上海廿三日發國通】最近漢口より歸來せる者の談によれば邦人引揚げ後の情勢が漸く判明したが、右によれば漢口日本租界は日本人引揚後支那側に管理を委託してゐたが、日本陸戰隊建物には武漢警備司令部の兵士が入り民國事務所は公安局に占領されてゐるわが海軍航空隊の飛行場その他軍事施設に對する爆擊が行はれて以來避難民が日本租界に殺到し公安局もこれが整理に手をやいてゐる、邦人家屋並びに遺留財產は大體において保護されてゐるが、傷病兵や避難民の數が增加するにつれて邦人財產の安全性は失はれつゝある

わが空襲に逆宣傳
中央指示の三つの方針

【天津廿三日發國通】最近わが軍は京漢線上の某縣城内に於て國民黨中央黨部の宣傳部から各縣黨部に宛てた密令を入手したが同項目中に日本軍飛行機の空襲を受けたる際の對日逆宣傳の方針を明示してゐる、即ち

一、日本軍飛行機の飛來せる時はその成功不成功如何に拘らず必ず一機で、二機を擊墜したと掲載すべきこと

二、支那軍事施設および交通機關、列車の爆破による被害はこれを隱蔽し、又は輕微とする宣傳をなすこと

三、非武裝民衆の被害はこれを出來るだけ針小棒大に誇大に宣傳すること

などで從來わが軍の空軍、軍艦の攻擊に對してはこの三つの宣傳方針に則つてゐる、その一例として事變以來漢口にあつてわが空襲禍の狀態を目擊せる某支那教授談にも日本機が、飛來するや全く鳴りを沈め飛び去ると直ちに支那機が市街上空を旋回し、翌朝の新聞紙は擧つて「わが機日本機を擊墜せり」と大々的に掲げてゐるといふ有樣である

蔣介石逃げる

【北京廿三日發國通】廿二日南支方面から在北京某國機關への入電によれば蔣介石は最早皇軍の猛爆擊を受け南京に居たたまらず既に南京を距る四、五里の地點、南京＝鎭江間の某地に潜伏してゐると

張學良銃殺か?

【天津廿三日發國通】支那側某要人の話によれば張學良は去る九月下旬某地において銃殺せられたこと確實であると傳へられる、支那事變勃發とともに蔣介石は張を副司令に任命し總司令たる自己の輔佐役としたが、蔣の彼に對する態度は終始冷淡を極め副司令としても何等の實權を與へてゐなかつたといはれる

敵洞窟陣地に肉彈突擊
小林部隊、山西省境に進出す

【井陘廿三日發國通】去る十七日より井陘西方山地の敵の洞窟陣地に對し果敢なる肉彈戰を試みつゝあるわが〇〇部隊の小林部隊第一線は、廿三日午後遂に莊頭（井陘西方約八キロ）の敵を驅逐し山西省境の線に進出した、敵の死體約三百、娘子關を中心とする敵陣地の陷落も近きにありと見られてゐる

駐支ソ大使 來月七日南京へ

【東京國通】廿三日某方面に達した情報によれば過般歸國した駐支ソ聯大使ボゴモロフ氏の動靜に關し在モスクワ支那大使蔣廷黻はテイ・パーテイの席上、在モスクワ外國記者團に對しボゴモロフ大使は本月五日モスクワを出發して各地を旅行のゝち約一週間前からレニングラードの老母の邸宅に靜養中だが、十一月七日の革命記念日にはモスクワ出發南京への歸任の途につく筈であると述べたといはれる

隴海、津浦兩線爆擊

【旅順國通】旅順要港部廿三日午前十時半發表＝第〇〇艦隊航空隊は連日隴海線、津浦線の各要地を爆擊多大の損害を與へつゝありしが、廿二日午後はさらに〇〇機をもつて徐州、碭山（徐州の西方七十哩）間、並に隴海線深く進出敵機銃高角砲の射擊を受けたるも軍用貨車十數輛、鐵路數ケ所を爆破し悠々〇〇に歸還せり、わが方損害なし

督戰隊恐さに嫌々戰ふ 櫻井中佐語る

【北京廿三日發國通】櫻井中佐は廣安門の戰で傷ついた脚を松葉杖に托して京漢線の第一線に立ち奮戰を續けてゐるが、廿一日連絡の爲最前線滹沱河から飛行機で歸京、久し振りに自宅に落着いた今度の歸京を機會にたつた今松葉杖を陸軍病院に返納して來たといふ、中佐は相變らずの元氣さだ、なほ廿四日休息する暇もなく戰線に出發するが、正午自宅で左の如く語つた

わが軍は廿一日夜疾風の如く猛追擊して遂に滹沱河南岸に達した、敵は對岸に渡し切れなかつた車輛二百五十輛、これに積んだ迫擊砲、小銃多數と馬匹五十頭を殘して鐵橋を爆破して逃げて行つた、この前面の敵に商震軍、萬福麟軍のほか中央軍も混つてゐるが、既にわが軍に驅散されて敵集團は五、六百人位に減じてをりたゞ後方の督戰隊恐さに嫌々ながら戰つてゐる有樣だ皇軍が進出した地方は農民が續々避難先から歸來し特產の棉花刈入れに忙しく、戰爭が通過した跡とは思へない平穩さだ

敵軍食糧難 民家から掠奪

【井陘廿三日發國通】天下無類の洞窟陣地に蟠居する敵はわが軍の猛攻擊に食糧の缺乏を來し、加ふるに寒氣甚だしく零下卅度に降ることすらあり、いよいよ困難を加へつゝある模樣であるが、この附近は一帶に山地のことゝて京漢線の如く野菜、獸肉等全然なく、彼等は便衣隊となつて井陘西北方の部落に出沒、民家より掠奪して僅かに餘命を保つてゐるのみである、殊に女便衣隊の出沒甚だしく住民は戰々兢々としてゐる

僞裝支那機 娘子關に飛來

【石家莊廿三日發國通】廿二日午後三時頃胴ならびに翼に日の丸を印して僞裝せる支那軍飛行機二機娘子關附近に飛來し共產主義を謳歌せる日本文の傳單を多數撒布しその儘南方に逃げ去つた

防共明朗政權確立
樂土建設に邁進
"南京"離脫、歸綏治維會猛運動

【綏遠廿三日發國通】日蒙兩軍の綏遠城進擊により綏遠縣城にあつて漢蒙兩民族の壓迫ならびに搾取をつゞけた支那軍閥は完全に一掃され綏遠城の政治、經濟、交通、治安等各般の行政事務は十七日以來民衆が選出結成した治安維持會の手によつて行はれて來たが、歸綏の各會代表ならびに市民は支那軍閥の暴政と國民黨の殃民容共政策の一掃せられた今日、一日も早く南京政府のもとより離脫して防共明朗政權を樹立、民衆の手によつて樂土建設に邁進すべしとの空氣が日に日に昂まつて來たので、歸綏治安維持會では廿三日午前十一時より公會堂に市民大會を開催し、民衆の總意に基き別項の如き宣言を決議し南京政府より離脫し、新政權の樹立に邁進すべく活潑なる運動を開始した

我らは非人道的共產主義を撲滅し舊軍閥の暴政を芟除し五族協和の精神を以て王道樂土を建設し東洋永遠の平和確立に邁進せんとす、我らの東亞各民族は一致團結して目的達成に起つ

右宣言す

成吉思汗紀元七百三十二年十月廿三日

伊警備兵一名行方不明

【上海廿三日發國通】二十二日午前上海西部日本人紡績地區警備中のイタリー警備兵歩哨一名が行方不明となれることを發見歩哨地點には一彈を發射した小銃が取り殘されてをり事態重視されてをる

九ケ國會議 支那代表決定

【上海廿三日發國通】本月卅日ブラッセルにおいて開催される九ケ國條約會議に際し、南京政府は二十二日代表として左の三名を任命した

首席代表 駐佛大使 顧維鈞
駐英大使 郭泰祺
駐白大使 錢泰

國民政府 税關吏を馘首

皇軍の猛進とゝもに京津地方に於ける治安は確保され、住民もまた皇軍を信頼して明朗北支建設は着々と進んでゐるが、南京政府は事變後北支税收の見込み全くつかず最近に至り各地徴税機關たる巡緝所を撤廢、雇員全部を解職するに至つた、即ち南京政府は事變後北支の税收入なきため曩に北支税關吏の三割減俸を實施したが、時局の情勢は舊態に復する可能性なく中國税務局長の名に於て各所巡緝所を撤收、雇員全部を解職した、[illegible]年二億圓の税收入を放棄した國府今後の財源は益々枯渇するは明かで賃金缺乏は抗日軍將兵の士氣に影響を來すものとみられる

皇軍の入城により
治安整ふ順德
施療施藥に市民感泣

【順德廿三日發國通】〇〇部隊本部が順德に進んでその後治安維持會が組織され、市内外の秩序も漸次回復し、避難してゐた市民は次第に歸つて早くも潑剌たる新興順德の姿を見せてゐる、日本軍は整然たる秩序のもとに市民と協力各種機關の復活に努むる一方廿二日より矢口、吉田兩軍醫大尉は市民の治療班を組織して疾病に惱む市民に治療、投藥し、また患者八十名を收容せる市内の病院を訪問、終日診療に忙殺されてゐる、その中には同市附近の戰闘のため腹部貫通銃創を受けた中央軍兵士等四名も交つてゐるが、皇軍の親切丁寧な診斷に對し涙を流して感謝してゐる

北京地方維持會最初の特赦 七國事犯を釋放

【北京廿三日發國通】北京明朗化の一つとして去月北京地方維持會によつて公布された特赦令のはじめての適用者として廿二日七名の國事犯被告が北京第一監獄を釋放された、何れも事變前親日的思想を抱懷し奸漢の嫌疑ありとして廿九軍の手に捕へられ投獄された人々で彼等は今や日本軍の手によつて昨日に變る明朗の空を仰ぎ感激の羽搏してゐる

傷病兵の手當にも
中央を先きに
差別ありと、地方軍不平

大連に達したる情報によれば隴海線定州にはわが軍より潰滅的打擊をうけて四散した卅九軍の負傷將兵が後送され、野戰病院に收容されてゐるが最近京漢戰線における連敗を喫した中央軍及び同傍系の傷病兵が陸續として到着して以來大混雜を呈してゐるが、施療は中央軍及び傍系兵士の手當を先にし、卅九軍及び雜軍の傷病兵士は切斷手術のまゝ手當なしで放棄され重態及び死亡する者續出の有樣で、卅九軍及び死亡する雜軍の兵士のこの差別待遇に憤激して暴行するものあり、仲間喧嘩の絶え間がない

英支兵衝突 英出先は否定

【上海廿三日發國通】支那兵と英國警備隊との衝突事件に關し英國側では何等の報告なしと何故か事實を否定する態度に出てゐる

日支問題への 英各紙論調

【ロンドン廿二日發國通】廿一日の英國下院における政府の穩健な外交問題討議に關し廿二日の各紙はそれぞれ社說において論評を加へてゐるが日支問題に關する各紙論調要旨次の通り

△タイムス紙 極東問題に對し調停によらず壓迫を加へんとし、又和平維持を口にしながら世界に大亂を起さんとしつゝあるは愚かだ

△デーリー・テレグラフ及びモーニング・ポスト紙 經濟制裁云々は經驗あるものゝ言ふべきところではない

△デーリー・ニユース紙 ブラッセル會議に制裁案を持出すのは大なる誤りだ

△マンチエスター・ガーディアン紙 日支紛爭に對し政府はブラッセル會議といふ都合よい逃げ路を見出したが、これに對し反對黨が疑惑を持つのは尤もである、同會議では提議することゝならうが問題は調停の條件如何である

△ニユース・クロニクル紙（自由黨系） ル大統領のシカゴ演說に對し英國政府がこれに應へなかつたのは遺憾だ

人事往來

▲松下外次郎氏（會社員）二十三日來京ヤマトホテル
▲佐伯正芳氏（同）同
▲小栗半平氏（同）同
▲和田鐘雄氏（同）同
▲福澤光愛氏（興中公司顧問）同
▲吉本光三氏（貿易商）同國都ホテル
▲青木晧氏（商業）同
▲岡本德松氏（岡本工業）同向陽ホテル
▲吉崎民之輔氏（同）同
▲小澤轍氏（官吏）同
▲木村武之助氏（會社員）同
▲姉川啓治氏（同）同
▲柳原喜四郎氏（同）同
▲中西忠一氏（同）同
▲伊藤謙二郎氏（商業）同中央ホテル
▲鶴順太郎氏（官吏）同都ホテル
▲淺見節二氏（同）同

九國會議は三十日ブラッセルで開かれることになり我方へも白國大使から正式招請狀が來た▼我方としては既定方針に從ひ參加拒絶の回答を發することは不動の方針として確定してゐる▼米伊の肚も既に決つてゐる、獨逸は支那市場を失ふも日本の行動を支持するといふ態度明瞭であり▼伯國は日本との通商關係が大切だから招請があつても出席せぬといふしソ聯は對支援助日本牽制も到底不可能と切齒扼腕の現狀に在る▼して見ればこの會議は蓋開けせぬ前既に結果が見えたやうに思ふかも知れぬがさうは簡單に片付かぬ癌がある▼その癌といふのは英支馴合ひでの國際干渉誘致運動である▼今度こそは日本も未曾有の難局に遭遇する覺悟で餘程しつかり褌をしめてかゝらねばなるまい

社説　ソ聯の國內情勢

一

ソ聯では昨年頃から例のスターリン憲法を中心として、國內民主化といふことを標榜して來た。しかしこの民主化政策なるものは、國內の異分子乃至反動分子を完全に排除した後でなくては行はれ得ない筈である。そしてソ聯の實情を見ると、異分子は依然として今日まで排除されて居らず、最近はむしろ反政府分子の暗躍は愈よ甚しいものがあるやうで、政府のこれに對する彈壓は殊に熾烈となつてゐるのである。スターリンがいはゆる「政治的盲目症」なるものを警告したのは今年三月であつたが、それ以後、國內の檢擧は吹き荒れる嵐の如くで、昨日の顯官、要人が今日は左遷、免職、乃至收容の厄に遭ふもの數を知らず、職務の怠慢、計畫未遂行は、破壞サボタージユ、敵國の手先として處分されてゐる有様である。ソ聯政治戰線の異常なる混亂振りは明白である。

二

ソ聯國防戰線に於ける混亂も、かのトハチエフスキー事件によつて暴露された。農業方面に於いても、農村の工業化、農業經營法の機械化といふ手段だけでは問題は解決せず、農民自體の思想傾向が未だ完全にボルシエヴイズムになつてゐない點にソ聯の脆弱性が存すると言はれてゐる。赤い國、と言はれながら、その實情は共產主義が徹底してゐないのである。現在のソ聯で純共產黨員は二百萬內外と言はれてゐるが、その實彼等にどれだけ共產主義が徹底してゐるかが疑問である。況んや爾餘の一般國民はたゞ食ふために共產主義の念佛を唱へてゐるだけであらう。ソ聯最近の敎育政策などを見ると、むしろ第二世國民を養成することによつて現在のソ聯國民の思想的缺陷を補はうとするのに努めてゐることが知られるのである。

三

ロシヤ民族について、彼等の本性はビジネスには不適當であり、唯物主義的機械文化には凡そ對蹠的な民族であるとされてゐる。そして强權に對しては屈從、隱忍性を發揮する。斯くて今日スターリン政策を謳歌し、スターリン航空路、スターリン運河等と各種の建設や新事業の功績をスターリンに歸してゐるのも、ロシヤ民族の强權に對する一種の阿諛、追從の性癖を最も露骨に示したものと言はれ得るのである。かゝる民族性はソ聯にとつて最大の短所、弱點たるものであらう。實際に即して推測するに、ソ聯は現在國內戰線を整備することに忙しいであらうと考へられる。從つてコミンテルンの對外政策にしても本來の目的はソ聯擁護にあると見られるのである。現狀を以てして冒險に乘り出すことは困難であらう。

リ駐英ドイツ大使　突如羅馬に飛來　ム首相等と重要會談

【ローマ廿二日發國通】ヒトラー總統の片腕と呼ばれる駐英ドイツ大使リッベントロップ氏は廿二日午後突如飛行機でローマ着直ちにローマ駐劄ドイツ大使ハッセル氏とともにヴエネチア宮にムソリーニ氏及びチアノ外相を訪問、重要會見を遂げた、リ大使のローマ訪問の理由につきドイツ大使館では目下ローマにおいて自動車事故の負傷治療中の愛孃を見舞ふためと稱してゐるが、ベルリン駐劄帝國大使武者小路大使も丁度ローマ訪問中であり近く九ケ國條約會議を控へて諸種の推測を生んでゐる、一方スペインの戰局はヒホンの陷落により俄然革命軍に有利となつてゐるのでこの方面に對し今後の獨、伊兩國の對策についても重要提議が豫想され、リ大使の動靜につき各國側は頗る注目してゐる

我國の經濟力は　絶對、貧弱でない　賀屋藏相の車中談

【沼津國通】賀屋藏相は二十二日夜東京驛發列車で廣島および名古屋に開催される國民精神總動員講演會に出席のため西下したが、車中當面の財政經濟政策に就き左の如き談話を發表した

戰局は豫想してゐた通りの推移を遂げてゐる模樣であるから計上した軍費は十分であり臨時議會を重ねて開くとか或は通常議會で年末に豫算を提出して協贊を求めるやうなことはあるまい、支那が腹の底から反省して來れば別だが、わが方は何年でも頑張るだけの準備を整へてゐる、銃後を護る者もこの心懸でせねばならぬ、戰時狀態に對應するため行政機構、財政經濟政策を整備する點より總議制、企畫院の創設その他諸般の經濟政策は全くこの一途に出たもので目下着々具體化を急いでゐる、併し現狀では差當つて戰時體制の大きな進展の要はないと考へて間違あるまい、爲替、金融、物價等經濟界の各機能が順調に推移してゐることは同慶に堪へぬが樂觀は禁物で今後ともますます戒心の要があらう、爲替建値變動は一種の結論であつてこれが基本をなすものは國際收支である、從つて政府の爲替對策の根幹は矢張りこの點に注がれてゐる、公債消化は無理をせずとも民間側との話合によつて解決するだらう、これが經濟界にどう響くかはもう少し先の問題だ、それ程餘裕があると言ふのが正直の話だ、政府は消費節約の根本方針として時局に際會し收入が增加した人々は生活を遙かに向上させる事なく貯蓄に振向けられたい、また自國製品や原料を外國に仰ぐ物品の消費を抑制されたいとの二點を擧げてゐるが、これ以上の節約は望んでゐない、この方針さへ國內協力して行つて貰へれば日本の經濟は危機が數年續いても大丈夫だといつてよい、わが國の經濟力は三杯の飯を二杯につめねばならないといふ程の貧弱なものではないといふことを國民はハッキリ知らねばならない

畏し天皇陛下　陸大卒業式に御親臨仰出さる

【東京國通】天皇陛下におかせられては來る十月二十八日支那事變下に行はれる陸軍大學校卒業式に親しく行幸遊ばされる旨二十三日仰出された、天皇陛下には當日時に青山の同校卒業式より還幸の御途參謀本部に御立寄り遊ばされ閑院參謀總長宮殿下はじめ奉り陸軍首腦部に拜謁仰せつけられ正午午餐の御陪食を賜はり事變に不眠不休の活動を續けつゝある勞苦を犒はせられる御由に承る

猛砲擊に怯む敵陣へ　通譯官一番乘り　勇敢、加替氏の奮戰

【上海廿二日發國通】○○○方前線の敵を攻擊する○○部隊は、廿日以來部隊長自ら第一線の陣頭に立つた、前面○○の敵陣地は東西百五十米にわたり二つの部落からなりこの間には堅固なる交通壕を通じて東を攻めれば西から援け、西を攻めれば東から援兵を繰出して巧妙にわが勇士の突擊を阻止し、しかも全部は竹藪に包まれて遮蔽されたトーチカ式掩蓋壕でわれに砲火をあびせる、この陣地に對してわが砲彈も效果の薄らいだのを見た○○部隊○○、○○部隊長は○○部隊長に續いて二十一日午前十一時敢然砲二門を敵前二百米の地點に据ゑ雨飛する敵彈を冒して「それあの機關銃を射て」「左の銃眼を狙へ」と命令するのだから一發の彈丸もはづれやうがなく最前線の味方の頭上をかすめ、砲彈は炸裂する、一彈敵の機關銃がふきとんだ、さらに一彈數名の敵兵が土塊と共に空中に舞ひあがつた、空前の肉薄砲擊の見事な成功だ「それこの機會だ」と敵のたじろぐを見た○○部隊長は一齊に進擊を命じ、クリークをとび越えた、この時○○部隊の左翼にゐた○○部隊は、部隊長傷つき花澤伍長が代つて指揮をとつてゐたが「突込め」と號令をかけた刹那重傷を負つて倒れた、伍長に代つて部隊の先頭に立つたのは加替貞造通譯（三八）だ、「俺に續け」と軍刀をひらめかして突擊また突擊、肉彈となつて遂に敵陣の一角に突入、見事に一番乘りをした、敵の手榴彈をあびて重傷を負ひつゝも屈せぬ加替通譯の決死の突入によつて東部落の一角に高々と日章旗は揚げられ、榮光は○○部隊に輝いた、續いて○○部隊も先頭に進擊、各所に白兵戰を演じたのち完全に東部○○を占領した、敵は三百餘の死體を遺棄して西部落に據つて最後の抵抗を試みるので廿二日朝來また○○部隊長は最前線にあつて猛攻を續けてゐるが、非戰鬪員たる通譯官のことの奮鬪ぶりは○○部隊長も大いに感激してゐる、加替通譯は事變前より上海に在住し、○○部隊の通譯として常に第一線に活躍勇敢さを謳はれてゐたものである

スターの千人針をマスコットに　北滿の義人村上老少尉の感激

【上海廿三日發國通】上海北部戰線○○部隊麾下の○○○隊長として最前線にあつて五十歲を越した人とも思へぬ矍鑠たる奮戰を續ける「北滿の義人」村上條太郎少尉を二十三日朝その現地に訪れると

女々しいと笑はれるかも知れないがこの人の純粹な親切を無にも出來ず、かうして肌身につけてゐるのです

と戰火の寸暇にそつと見せてくれたマスコットがある、古武士の面影豐かな老少尉が殺伐な戰線における唯一の慰めとして戰友の愛婿門田健一少尉にも語らなかつたマスコットとは、なんと全日本女性の渴仰の的である男裝の麗人寶塚のスター小夜福子さんのブロマイドと彼女の作つた千人針ではないか

これはね、あの人がなんとかいふレヴユーで私に扮して出演した時のもので、今度私が出征することになつたので奇緣に感激し私のためにと仕事の間に造つてくれた千人針とその寫眞なんださうです

と小夜福子さんの何たるかを知らず親切だけをすなほに受けとつて語る村上老少尉の面貌には日本武士の優しい半面が快よく浮彫りされてゐる

かうした銃後の熱誠を思ふと○○とる手に思はず力が入いるのを感じますが、これは恐らく私だけではなく將士全部が感じることでせう、皇軍の連戰連捷もまた當然のことですね

○○クリークの對岸を頑守する敵蟲を睨んで老少尉は快よく笑つたのであつた

支那兵又無軌道　英兵と衝突す

【上海廿三日發國通至急報】廿二日午後九時十五分北四川路前面の支那軍は英國警備區域たる北江西路の英國警備隊員に對し突如手榴彈を亂擲して來つたので、同隊では直ちに機關銃の反擊を加へてこれを制壓したが、さらに廿三日午前五時過ぎ又も支那軍は手榴彈、機關銃をもつて襲ひ來つたので英國守備隊では極度に憤激、これに機銃の齊射を浴せた、支那軍と英國警備軍との二回にわたる交戰は異常のセンセイションを起してゐる

中日貿易協會閉鎖

【上海廿三日發國通】上海國民對日經濟絶交委員會ではさきに中日貿易協會に對し解散を迫つてゐたが、廿二日同會會長周作民より絶交委員會宛左の回答が發せられた

貴會の通告に接し感激に堪へず、愛國の情においては吾人と雖も讓らぬ、當會は正副會長及び理事全部辭職し即時事務所を閉鎖す

中日協會は日支兩國における經濟狀況の共同研究及び貿易の促進を圖るを目的として兩國財界有力者をもつて組織されて東京及び上海にそれぞれ本部をおいてゐるもので、同會の解散は全員一致の同意を要する事となつてゐる、右回答は一面同會の解散を宣したるものゝ如くにもとられるが事實は現下の時局に際して一時的機能の停止を表明したものに過ぎず絶交委員會の要請に對して一應これを滿足せしめんがため、かゝる僞裝的回答を行つたあたり、支那財界陣の眞意を反映したものとして頗る興味が感ぜられる

韓復榘、支那記者團に　徹底的抗戰言明

【上海廿三日發國通】急迫した山東の情勢に關し省主席韓復榘は廿二日支那記者との會見において

余は軍人である以上國土防衞の責務を有することは論ずるまでもない、この民族存亡の危機に直面して中央及び軍最高指揮官の命に從ひ徹底的抗戰をなすに何等犧牲を吝むものでない

と答へ日本軍が濟南を爆擊しないのは日本との間に或種の默契ありとの外人側の流言を打ち消し

自衞のため既に防衞の手段を講じてゐる、自分が最も有力に自分の態度を物語るであらう

中野正剛氏渡歐　來月十四日出帆

【東京國通】中野正剛氏は支那事變に對する帝國政府の見解を率直に述べるとともに獨伊の經世家と意見を交換するため來月十一日午後九時東京驛發十四日門司港出帆の白山丸で獨伊に赴くことに決定した、氏はムッソリーニ首相、ヒトラー總統とも會見する筈である

日貨ボイコットは不可　カナダ紙主張

【ボストン廿一日發國通】ボストンのクリスチャン・サイエンス・モニター紙は廿一日の紙上でカナダの對日經濟ボイコット問題を論じて左の如く述べた

カナダ政府が英本國輿論の尻馬に乘つて對日經濟ボイコットに乘出すことは到底考へられぬ、何故ならばカナダの對日輸出は輸入の四倍以上に達する現狀に鑑み日貨ボイコットを行へばこの報復を受ける虞れが頗る多いからである

なほキング首相は同問題に對しては絶對沈默を守つてゐる

ス革命軍　ヒホンを占據

【ヒホン廿一日發國通】ビスケー灣岸におけるスペイン政府軍唯一の要衝ヒホン（ビルバオ市の北方）は、廿一日つひに革命軍のため占據された、これによつて革命軍は北方海岸一帶を完全に攻略し對政府軍の作戰上斷然優勢を確保するに至つた

牡丹江　縣參事官初會議

牡丹江省開設後最初の縣參事官會議は二十二日午前十時より日本居留民會において開會大島省長、宇山次長以下各廳長、各縣參事官、來賓として○○部隊長等出席、官房、各廳より指示事項あつて午後四時第一日を終つたが、二十三日も午前十時より續開、各縣參事官より縣情報告あつて第一回參事官會議を終つた

滿洲移民經費　千九百萬圓を計上

【東京國通】拓務省明年度豫算案は既に大藏省に提出し各費目に關する一應の說明を終了したが、滿洲關係の新規事業の主なるもの左の如し（單位萬圓）

一、滿洲移民に要する經費（一、九〇〇）（五〇〇增）

內譯

▲滿洲拓殖公社出資額　一五〇
▲集團移民一萬人に要する費用　一、〇〇〇
▲自由移民五千人に要する費用　二五〇
▲青少年移民一萬人に要する費用　五〇〇

新京取引市況（廿三日後場）

現物　包米　大豆　高粱　高粱　小豆　寄引出來高　[illegible]

十月限　十一月限　十二月限　[illegible]

手形交換高（二十三日）

[illegible]

彰德地方の地理的懷古（其十）

大宮權平

太行山系上黨111方より直瀉する、淸漳、濁漳の二水會合して漳河となり、河北河南西省界を劃して、南走する此巨流の貫きて、東する京漢鐵路上に、著名なる樞要地彰德あり、前漢時代、魏郡の治所とし、唐に鄴郡とし、金代始めて彰德府と呼び、爾來此名を以て通稱せらる、現代は安陽縣治とす、淸末には袁世凱、此處に宏壯の邸宅を構へて、蟠居し北京を睥睨せり、其南に湯陰縣あり、周文王の幽囚せられし、羑里は縣北郊なり、其南に淇縣あり、附近に有史以來著名の殷の國都、朝歌に紂王の酒池肉林の址として、今尙稱郘と呼ぶ、一地點あり、明治三十二年發掘せられたる龜甲獸骨に彫せし文字は、殷墟文字として、世界的考古學者の研究資料たり、羅振玉氏に殷墟書契考釋の著あり、斯學界に尊重せらる、又其南に汲縣あり、元代衞輝路と稱せし以來通稱となる、附近に晉武帝太康二年盜不準、古墳を發き、竹簡の古文書數十車、七十五篇を得たり、學者之を研究し、魏の襄王の家、或は安釐王の家と考證し、從來世に流布せられある、文獻と其年代を異にせるを以て、之を汲冢周書竹書紀年として、古代歷史に一異彩を形成するに至る、文化史上特殊の發掘物なり、此地西に京漢鐵路あり南に道淸鐵路あり淸化鎭現在博愛縣の焦作炭運搬線とし、英商福公司の經營に屬す、其終點運河に連絡する地點を、道口鎭現在滑縣とす、此運河は太行山南麓より發源する、衞河、淇河の水を利用し、隋煬帝の開鑿に係る、永濟渠の舊水道にて、前揭の漳水を容れ、臨淸、德州、滄州を經て天津に達する、河北省の大動脈とす、道口鎭附近に、大伾山と稱する一丘埠あり別名黎陽山又胥壞山として有名なるは、後漢光武帝が王郞の軍を擊破して、帝業の達成を天地に告祭したる爲のみならず、禹の時代に於て黃河此山下を東北流れ、屢々水患をなし、父子二代に亘り、治水に困難を極め、加之周定王時代、宿胥口に決潰し、大被害あり、又漢武帝元光三年、決潰し十六郡水沒し、流民無數、帝大に之を痛み、決口に親臨し、卒二十萬を發し、群臣悉く薪を負ひ簣を擔ひ、漸くにして之を塞ぎたり、當時の防水具楗の材料として、淇縣の竹林を伐採したりとて、後世淇の一字は、竹を代表するに至れり、其決口地名、瓠子口は史上顯著なるも、悠久二千七十餘年來、河道の變遷、地形の移動、現今其正確なる位置を認むる能はざるも、宿胥口と共に略ぼ大伾山下附近なるべし、其痕址として、今尙蜿蜒、連續する幾條の堤塘の存するあり、曰く鯀堤、金堤、黃澤堤、倪公堤、太行堤等々、想ふに當時の河道は、現黃河鐵橋邊より、東北向し大伾山下を經て、河北の平野を漫溺放流して滄州邊に至て渤海に注ぎたるが如く察せらる、彰德東方に大名と稱する大城あり、此地漢以來の名稱にして、春秋時代には、魏の元城とし、唐亦元城と呼び、臨濟砦、興化寺今尙存す、宋代には北京と定められしも、金の南征するに方り、齊帝劉豫の都となる、其南方に有名なる古戰場あり、魏の惠王三十年、齊と戰ひ、將軍龐涓は齊の孫臏軍の伏に陷り全軍覆滅し、太子申、捕虜となりし、所謂馬陵の大敗場なり、其南方に又、澶淵の要として史上顯著の地あり、歷史は繰返す、當時遼の國勢興隆し、宋軍を河北の平野に驅逐し、黃河北岸に迫り、宋都汴京現在開封の陷落旦夕に迫る、朝野震駭す、宰相寇準乾坤一擲の策を獻じ、眞宗の親征を慫慂し、景德元年六軍堂々澶州に次す、然れども遼勢如何ともするなく、遼軍に包圍せられ、終に城下の誓を爲し、巨額の幣帛を納し、僅に南歸するを得たる大失敗史を印せし、其地點は通稱開州現濮陽縣の西南現名繁?又澶陂といふ、今や決河の勢を以て、南征する、聖天子の皇軍に對し第二の澶淵は夫れ何の地乎（一二ノ一〇ノ二〇）

家畜を殺した廉で　反革命分子死刑　アゾフで十名、ハルコクで五名

【モスクワ廿一日發國通】A・Pモスクワ支局の報道によれば黑河地方アゾフにおいて反革命分子十名が集團農場の家畜を殺した廉によつて死刑を宣告され、またウクライナ共和國ハルコク地方において五名が家畜使用計畫妨害の廉で同じく死刑に處せられた

バルチック　黑海艦隊　司令官更迭

【モスクワ廿二日發國通】スターリン政權の肅淸工作は國際狀勢の緊張の折柄にも拘らず國防關係要人に波及し注目を惹いてゐるが、ハヴアス通信社モスクワ支局の報道によれば最近國防關係で左の如く重要更迭が行はれたと報じてゐる

一、オルロフ國防人民委員部次長を罷免し後任に極東艦隊司令官ヴイクトロフ提督を任命
一、新たにイザコフ、スミルノフ兩中將をそれぞれバルチックならびに黑海艦隊司令官に任命
一、モスクワ飛行場長ダイイツ將軍の罷免

なほオルロフ提督ダイイツ將軍および前バルチックならびに黑海艦隊司令官等の今後の地位は不明である

滿洲に於ける水力發電事業(下)

滿洲國水力電氣建設局長 工學博士 直木倫太郎

(鏡泊湖は) その水面積八千町歩に餘り由來その湖邊の明媚なる風光及びその流末が一大瀑布をなして落込む滿洲には洵に珍らしき景觀とによつて夙く知られて居りますが、此所に高さ十四、五米長さ一、八〇〇米の堰堤を設けて湖水面を高め、長さ一軒餘の隧道によつて水を導くならば五〇米乃至六五米の有效落差を利して常時六萬キロ最大八萬キロの水力發電を得べく、よつて近くは牡丹江市へ、遠くは延吉、圖們方面に迄東滿洲全面に於ける工事的文化的發展に重大なる役割を演ぜしめることとなるのである、この事業費概算は一千數百萬圓にて足り工期も二ヶ年にして成るべく、斯く工費の安きは自然の湖水をそのまゝ貯水池に利用し得るが爲であり、工期の短きは堰堤が低くて事足りるからであり、從つてその速成が頗る期待されて居るのである、尚此場合にも矢張り下流東京城、寧安、牡丹江市方面の平野の氾濫を除却すべく洪水時に於ける貯水池面の調節を深く考慮して以て河川の綜合的效果を擧ぐべく立案せられつゝあることは之を言ふ迄もない

尚此牡丹江川にはこの地點以外その下流に於て別に發電可能の三地點を有するを以て順次之を實現せしめんには將來合せて三十六萬キロワットの發電が期待され得るのである

最後に申上ぐるは「鴨綠江の水力發電」である、前にも申せし如くこの水力發電事業は國境河川たるの關係よりして滿洲側と朝鮮側とに同心異體の二つの會社が設立され、その共同事業として鴨綠江本流に適當の地點を選びて順次七ヶ所の大堰堤を設け合計最大百六十萬キロワットの發電を最後に實現せんとする素晴しく大規模の計畫なのであります、その內先づ第一着手の事業としては

(鴨綠江の) 下流朝鮮の朔州に近き水豊なる地點に經費一億圓を以てする雄大なる混凝堰堤工事の着手にある、堰堤の高さ九四米長さ八五〇米、有效貯水量五十五億立方米有效落差七七、四米最大每秒九百九十噸の水を利用して最大發電六十四萬キロワット、常時三十六萬キロワットの發電を爲さんとするもので、規模の雄大なることは確に世界的二、三位を下らぬものであり資本金五千萬圓宛の滿鮮二會社は既に成立し、工事は既にその第一步を踏出したのである發生電力は無論之を折半して滿洲側では東邊道から南滿洲一圓へ又朝鮮側では主として北鮮方面に向つて共に工期五ヶ年の後をすら待ち切れざる程の廣汎なる用途を控へて居るのである

以上簡單ながら新しく滿洲に擡頭せる三大水力電氣事業を說明申上げたるが何しろ大自然の威力を冒し之に反抗して名たゞる大河を横切つて人爲的に之に挑戰せんとする工事であり作業中洪水の襲來其他何時如何なる不測の災害に遭遇するか殆ど豫定し難きことであり、殊に御承知の如く冬期六ヶ月間は寒氣の爲混凝土工事を休止せざるを得ず、爾他作業とても自ら行動の敏活を缺くこの滿洲の土地柄として工事完成までには前途幾多の障碍を豫期せねばなりませんが當局としては唯一意精密周到なる研究と斷乎たる確信の下に能くこの難事業を克服せんものと一同勇躍しつゝある次第を申添へてこの講演を終ります(完)

樹海・古洞河の密林地帶を行く

延吉にて 中村秀男

南崗平野

龍井耶馬溪といはれる大屯谿を右にみて暫く行くと眼界一時にひらけ豐饒な頭道溝平野の實りの秋が展開される

頭道溝平野を山一つ距てゝ三道溝平野があり、この二つの平野を延吉方面の京圖沿線平地(北崗平野)と對比して南崗平野と呼んでゐる、そしてこの南崗平野こそ間島開發の經濟的母胎線でもあり龍井を中心とする內鮮人勢力の中心點だつたのだ

樹海に入る

仲里村の集團部落を左に見て暫く行くと鐵道は緩い勾配に差しかゝる

周圍の山には楓等が紅葉して絢爛の錦織を見るやうだ、進むに從つて老嶺山脈一帶即ち龍安事業區關係の海蘭河、古洞河、二道溝の三流域にわたる所謂樹海の中心に入り込んで行く、龍安事業區は面積三十三萬一千八百四陌、その中立木地二十六萬二千七十二陌未立木地六萬九千七百三十二陌その蓄積量は針葉樹二千八百六萬千三百五十立方米、濶葉樹二千四百十四萬九千四百四十五立方米、合計五千二百二十一萬五千七百九十五立方米である

華集嶺越え

終點に近い華集嶺の山頂についたのは午後二時過ぎ、朝から曇つてゐた空はとうとう雪まじりの となり見透しの利かない谷間を寒さうな十月中旬の雲が流れて行く、華集嶺の隧道は林鐵第一の難工事だつたところで入口には前交通部大臣丁鑑修氏の書いた題字がかゝつてゐる、もと華集嶺は窩集嶺と言はれてゐたところだが、この名前は何か不吉な穴居の民族を連想させるといふのでこれを華集嶺といふ雅やかで華やかな名前に代へてしまつたのだ

建國六歲、樂土滿洲國はこの安圖の山間華集嶺の山頂にも實現されたのだ

「去年あたりまでは危くて護衞がなくてはこの峠は越せなかつたのですがね」

「變つたものですね」

この短い會話の中にも千萬無量の想ひが潛む華集嶺をかすめて飛ぶ晩秋の風は徒らに寒い (未完)

奉天	四八四、六八七
營口	一九一、三七八
山城鎭	二八三、四六四
安東	一二〇、九八四
間島	五一〇、〇八一
計	三、八二一、三三四

觀光誘致差控へ

【京城支局】朝鮮鐵道局では觀光季節に入ると鮮內各名所をポスターに印刷之を普く一般に配布につとめて來たが事變に直面し斯かる觀光的誘致は成べく差控へ印刷物配布を差し止むることになりこの程吉田鐵道局長から各驛長宛通牒した

鮮農水田收穫豫想 約二割の增加

滿鐵調査による本年度における全滿の鮮農水田收穫豫想は三百八十二萬五千餘石にして前年度に比し約二割強の增加を示してゐる(單位石)

新京	二〇九、三〇〇
吉林	三一九、六四〇
敦化	一五三、二九〇
牡丹江	四一〇、二八六
五常	四五、三八二
哈爾濱	九九〇、〇〇〇
綏河	二八、九九二
齊々哈爾	四五、五〇〇
白城子	三三、五五〇

競馬 今年の競馬もけふでさよなら 泣き笑ひの最終日

新京臨時記念競馬第五日目はけふの最終競馬を控へて、ファンの人氣を大いに煽り聊か番狂せを演ずるものとして期待されたが、前半は穴なき競馬デーに終始して了つた、しかし最後の第十レースに於て南風四十六圓三十錢の高配當を出して、ラスト競馬らしい華やかな幕を閉ぢた、愈よけふは本年の掉尾を飾る納競馬而かも臨時の最終競馬だけに頗る興味あるレースにファンは乘つて、ハリキリ投票に熱戰を期待される、尚廿三日に於ける成績左の如し

▲入場人員 一、九九三名 ▲馬券總賣上高 七六、九〇五圓 ▲搖彩票賣上高 一四、八八〇圓

第五日目成績

△第一競馬(二、二〇〇米、四頭) 1雲祥(二分五六秒一)2銀嶺、3哈克登、配當|單九圓七〇、搖彩1五七圓六〇、等外四圓八〇

△第二競馬(二、二〇〇米、七頭) 1大東京(三分一四秒一)2觀雄、3若駒、配當|單一三圓二〇、複1七圓七〇 2一三圓二〇、搖彩1二四〇圓六〇、2六〇圓一〇、等外一五圓

△第三競馬(二、二〇〇米、七頭) 1武勇(三分三秒四)2公流、3赤穗、配當|單九圓一〇、複1七圓一〇、2一一圓四〇、搖彩1二八一圓六〇、2一一圓四〇、等外一七圓六〇

△第四競馬(二、〇〇〇米、六頭) 1新泉(二分三八秒)2海星、3英貴、配當|單七圓二〇、複1六圓二〇、2一〇圓四〇、搖彩1三四五圓六〇、2八六圓四〇、等外二七圓〇〇

△第五競馬(二、〇〇〇米、九頭) 1金大川(二分四九秒一)2藜、3秋風、配當|單八圓二〇、複1七圓、2一六圓八〇、3一二圓二〇、搖彩1八二八圓八〇、2二三六圓八〇、3一一八圓四〇、等外四九圓三〇

△第六競馬(二、〇〇〇米、六頭) 1櫻川(二分五四秒二)2東駒、3金大鵬、配當|單一四圓六〇、複1八圓、2八圓四〇、搖彩1四三七圓七〇、2一〇九圓四〇、等外三四圓二〇

△第七競馬(一、八〇〇米、八頭) 1英飛(二分三四秒)2信貴、3九千部山、配當|單一一圓三〇、複1五圓六〇 2七圓四〇、3七圓三〇、搖彩1九二二圓八〇、2二六三圓六〇、3一三一圓八〇、等外六五圓九〇

△第八競馬(一、八〇〇米、八頭) 1紅燕(二分三五秒四)2惠、3東功、配當|單二七圓、複1七圓九〇、2七圓四〇、3九圓七〇、搖彩1八七七圓八〇、2二五〇圓八〇、3一二五圓四〇、等外六二圓七〇

△第九競馬(一、八〇〇米、九頭) 1新京北斗(二分二七秒三)2菊勇、3舞島、配當|單一〇圓五〇、複1六圓八〇、2二六圓、3一〇圓八〇、搖彩1八二四圓二〇、2二三五圓五〇、3一一七圓七〇、等外四九圓

△第十競馬(一、八〇〇米、八頭) 1南風(二分三七秒四)2新京豆、3公月、配當|單四六圓三〇、複1八圓五〇、2一六圓八〇、3六圓七〇、搖彩1八〇六圓四〇、2二三〇圓四〇、3一一五圓二〇、等外五七圓六〇

勝馬豫想及び出馬表

▲第一各障碍(二、二〇〇米)
穴 一 北龍 六三 吉滿
二着 二 一二三 六六 梶原
三 北彊 六三 清水
一着 四 觀雄 六四 新原
五 奉天豐姬 六四 松本
六 滿鮮 六〇 內田

▲第二古外馬(二、〇〇〇米)
一 金進 六〇 久保田
二 初瀨 七〇 脇山
三 哈克登 五四 吉滿
二着 四 海星 六二 上原口
一着 五 銀嶺 七〇 梶原

▲第三各抽(二、二〇〇米)
三着 一 秋風 六七 落合
二着 二 赤穗 六九 梶原
穴 三 高風 六二 甲斐(均)
四 滿洲鶴 六五 甲斐(啓)
五 有田 六九 清水
六 拉麗德 六〇 久保田
一着 七 新譽 六四 濱崎
八 吉功 六七 吉滿

▲第四古外馬(一、八〇〇米)
一着 一 英貴 六〇 高尾
二 新長 六二 松本
三 一天 六六 清水
穴 四 金翔 五九 甲斐(均)

▲第五各抽(二、〇〇〇米)
一着 一 菊勇 七二 梶原
二 蘭花 七〇 久保
三 新旭 六〇 甲斐(均)
二着 四 公流 六二 落合
穴 五 大江戶 七〇 久保田
三着 六 北州 六九 松本
七 來北 六三 高尾
八 公星 六〇 谷尾

▲第六春抽(一、八〇〇米)
一 榮昇 五六 谷尾
穴 二 東春 五三 高尾
二着 三 金大鵬 五四 新原
四 第二羽衣 五三 甲斐(啓)
一着 五 鎭力 五三 上原口
六 興安嶺 五六 脇山

▲第七各抽(一、八〇〇米)
三着 一 九千部山 六四 落合
穴 二 長春 六二 內田
三 丹友 六四 梶原
四 玄洋 六〇 上原口
五 生花 六〇 新原
二着 六 信貴 六六 久保田
一着 七 鎭弓 六六 松本
八 新京輝 六二 久保
九 東駒 五八 高尾
十 勝 六四 吉滿
十一 玉吹雪 五九 谷尾

▲第八秋抽(一、八〇〇米)
二着 一 東功 五六 高尾
二 第三羽衣 五九 清水
一着 三 新朝風 六〇 甲斐(均)
四 金大英 五三 新原
五 新勇 六〇 久保田
穴 六 惠 五七 梶原

▲第九各抽方變(一、八〇〇米)
二着 一 舞島 六二 新原
二 常陸 六四 甲斐(均)
三 公山 六四 落合
一着 四 睦月 五六 上原口
五 日旗 六二 甲斐(啓)
六 玉飛 五五 谷尾
三着 七 蓼 六三 久保
八 泉山 五九 久保田
九 秀輝 六〇 吉滿
十 八萬 六五 脇山
十一 黑墨 六六 梶原

▲第十秋抽(一、八〇〇米)
穴 一 辨天 五五 吉滿
二 松竹 五八 新原
三 丸八 五六 久保田
一着 四 公月 五八 梶原
五 光旭 五三 甲斐(啓)
六 山心 五一 脇山
二着 七 新京豆 五三 上原口

吉林土建組合 歸趨注目さる

滿洲土建界の統制機關たる土建協會對吉林土建組合の加入問題は資格問題について昨年決裂せるまゝ今日に及び、全滿で吉林だけが別個の形で工事を施行し來りたる現狀はすでに第二松花江水力ダム工事に伴ふ吉林土建界の勃興期に際し放擲し置くべきものでなく兩者の妥協點をこの際一日も早く見出してその健全なる發達を計るが急務であるとの聲が高い、これに對しては相當複雜なる事情もあり、土建組合が總領事館の認可組合たる形式上その權限、義務に對し相當考慮すべきものありと傳へられ、組合外の他地業者の工事施行についても本春來市民館の改修を繞つて工事請負者間に非難の聲擧りつゝあり或は將來禍根を殘すことも憂慮され、この問題解決は當業者の關心を惹いてゐる

昭和十一年度 全鮮出產統計

【京城國通】總督府調査による昭和十一年度中の全鮮における出產數は六十三萬五千四百八十八人で、生產六十三萬四百九十八人、死產四千九百九十人を示し生產者數內譯は內地人一萬四千五百六十四人朝鮮人六十一萬五千三百八十一人、外國人五百四十五人、しかしてこれを一日平均にみれば一千七百二十二人となり人口千人に對する生產率は二八・六人にあたり前年の二九・二六人に比し稍低下してゐるまた內地の生產率三一・六三人に比し著しく低下してゐる

附屬地移讓を機に 奉天の衞生陣強化 各關係當局對策協議

附屬地移讓に伴ふ衞生施設の一元的統制に關し廿二日午後一時より奉天地方事務所に省市公署、地方事務所、奉天警察署、瀋陽警察廳各關係者參集、傳染病豫防、水質檢査、特殊婦人の衞生施療問題等に關する協議を行つた結果傳染病豫防、水質檢査に關しては附屬地側、城內側共に同一指針の下に極力衞生思想の涵養並に實踐促進に協力することゝ決し特殊婦人の衞生施療に關しては從來附屬地側にて採り來つた強制的指導方針を原則的に踏襲するが、城內側に於て豫算其他の關係上諸施設不備のため同問題に關しては別途協議を行ふことを申合せ同四時卅分散會した

讀者の領分

投稿歡迎 中傷不可

放送局に注意

こう書くと如何にも放送局攻擊のやうに聞こえるが別に攻擊を目的とするものではない全くもつて聞き苦しいから御注意までに申しあげるわけだ 遂ひ數日前のニュース放送にペイピン發同盟云々と幾回も平氣で放送してゐる、北平が北京と改められたことは新聞よりも先に我等に傳えたものは放送局自身であつた筈それが平氣で北平々々と連發されては誠にもつて聞き苦しい次第、こうしたことは實に小さなことではあり、ほんのちよつとした無意識の間違ひであらうが一般聽取者にとつて不快さは逆に大きいもの

□

今一つ、これも數日前の放送で朝鮮京畿道から愛國機を献納することになつた旨の放送 小學校を卒業したものなら京畿道はケイキドウであることは判つてゐる筈、それをアナさん平氣でキンキドウと幾回も繰り返し放送してゐる、これは無意識の間違ひでなくアナウンサーの淺學に基くもので斯の如きは總べての放送につき種々な疑惑さへ感ずるやうにならぬものとも限らぬ、何事によらず勉强することはお互ひに必要、不斷の勉强を望んでやまぬもの(一市民)

指先の汚れは貴女の美を半減する

て、手輕なマニキュア法は？

初冬の美容

指先の汚れてゐるものはまことに興ざめのもので手はお顔以上に美しく手入れをしておきたいものです。外出の時は申すに及ばず平常から簡單なマニキュアをして頂きたく思ひます。マニキュアを本式にするにはいろ〳〵道具も要りますし、技術も面倒ですが、ごく簡單に出來る方法を申上げませう。まづ

爪先 を爪切りでお好みの形に切り、ヤスリをかけて爪の角をとり落します。次に指先を微溫湯に浸しブラシをかけて洗ひ外は除去液を爪廓につけてオレンヂ棒で押し、爪の輪廓を整へ、ケークポリッシュかパウダーポリッシュをつけて爪を磨きます。爪が脂氣少くもろくなつた樣な方はキューチクルオイルを塗るとよろしい。（しかしこれは艶出液を塗る前によく拭きとつて下さい）次に艶出液を筆にふくませて爪に塗り（爪の白い半月形の部分には塗らないで、その先だけをムラなく仕上げます）乾いてから

輕く バッファーをかけます。ですから御道具としてはオレンヂ棒、バッファー、爪切り、艶出液、キューチクルクリムバー（外皮除去液）キューチクルオイル（爪の榮養と指先のあれどめ）とこれだけあればよろしいのです。たほ爪の形と色合ですがこれにはいろ〳〵好みがあつてペンシル形とかポイント形精圓形とがありますが、一ばん上品でよいのはポイント形の角をおとした形でせう。爪の先のとがつた形はどうかすると人を傷けることがありますから御注意して下さい。爪の色もあまり濃い色はいやなものですからやはり自然色がよろしく特に中年婦人は無色がよろしいでせう。お若い方ですと眞紅なルビー色から

無色 まで七色ばかり艶出液の色がありますからその間でお好みの色を選ばれるとよろしいでせう。特に白の禮裝の場合は白眞珠色の艶出しをお用ひになると大變結構です。

季節料理

みづ〳〵しい大根のうれしい頃となりました。けふは大根の柚子味噌掛けとお子樣のお喜びになるあたゝかいパンを申上げませう。おやつによろしうございます。

一、大根の柚子胡麻味噌掛

【材料】（五人前）

大根	一本
白米	一寸
だし昆布	茶匙一杯
黒胡麻	五十匁
甘味噌	食匙三杯
砂糖	二十五匁
柚子の皮	一ヶ
煮出汁	少々
酒	少々

大根は七分切、昆布白米を共に煮て、別に柚子胡麻味噌をこしらへてかけます。

二、南瓜の蒸しパン

【材料】（五人前）

メリケン粉（鉄質の少い粉）	七十五匁
ベーキングパウダー	茶匙すり切七杯半
南瓜（漉したもの）	五十匁
砂糖	十二匁
鹽	小匙輕く一杯
牛乳（水を代用にしてもよろしい）	約一合二勺

南瓜を茹でゝ漉し、砂糖、鹽、牛乳を加へ、メリケン粉にベーキングパウダーを加へてから入れ、器にとつて蒸します

觀測所を

諸所に置きその觀測が記錄されるやうになつてゐる。その觀測研究家の一人としてキャプテン・ダンロイターは燈台守、海岸監視船長等の助力を得て研究を續けて居り、その他にもロサムスラッド實驗所のC・P・ウイリアム博士の如き人がある。同博士の研究の結果によるとイギリスの原野や森林や庭園に美しく飛び交ふ蝶類六十種以上のうち充分十二種位は海を渡つて來る蝶だといふのである。

大海を翔破する英國の渡り蝶

原因は未だ不明

渡り鳥が 季節につれて大洋を越えながら住地を移して行くことに就いては科學者の間にも諸説があつて未だ謎とされてゐることは嘗つてこの欄に紹介したところだがやはり大海を越えて移住する渡鳥ならぬ渡り蝶が極めて少數ながらイギリスにあるといふ。蝶が數百哩を翔破して海を越えるなどゝは一寸考へられないことだが、然し現在ではこの事實が明らかにされてゐる。勿論鳥類の移住と蝶類の移住とでは大きな相違があり、鳥類は規則的に往來してゐることは我が内地でなら燕や雁の例でも知られる通りだが、この蝶は移住して來る時期は定期的とか規則的とかではないのである。年に一度のこともあれば數年目のこともあるといふのだ。

□

この不規則なことの理由は目下

昆蟲學者 がその法則を建てやうとしてゐる處だがまだ僅かに推測し得られる程度にすぎない。其原因は土地の乾燥にあるらしいとされてゐる。元來蝶は陽光を慕ふものだが酷暑のために草や野性の花が乾燥されてしまふとその土地に留つてはゐないらしい。即ち渇が蝶類に丘を越えて緑の草地を求めて行くのである。而してこの求める所が見つからなければ海を越えて飛び續けることも躊躇しないといふのである。イギリスに最も屡々現れるこの渡り蝶はヒメハタ蝶を云はれる種類で比較的規則的に現れるものゝ中でも

長い 旅をして來るもののゝ如くである。これは一寸信ぜられぬやうな話だが中央アフリカで多を過し春になると地中海を渡り始めフランスを越えイギリス海峽を渡りスコットランドへ進出し最も翅の強いものになるとアイスランド沿岸にさへ渡るといふ。かうした長い旅を續けることは今では實證されてゐるが、然しまた元の土地へは決して歸らぬことも知られてゐる。十年程前に蝶はかゝる長距離翔破は不可能で恐らく一群の蝶が或る距離を飛んで卵を産みその孚つた蝶が更にその先へ飛ぶのだと考へられたこともあるがこの説は後によ認められなくなつたのである。

□

この渡り蝶に就いてはこの三四年の間に大分知られるやうになつて、尚は專門家は

カフエーサービス座談會

——3——

カフエー凋落の素因

いつそ女給を"通ひ"にしたら

長谷川＝こゝらで一寸私の知つて居る範圍のカフエーの變遷を述べて見ませうかね、東京で一番先に出來たのは銀座の角にライオンです、次に春、それから赤玉、クロネコ、キンザ會館等々だつたと思ひます

私も一杯呑む方だつたから行きましたが、震災前迄は現在のやうに盛んではありませんでしたのがあの震災で燒野原になり人の氣が荒くなつたといふか悪くなつたと云ふか兎角宵越しの金は持たんとジャンジャン通ふ、そのうちにお客が女給さんに手を出したり女給さんもそれに應じたりするやうになつてエロが流行しその對象物として出來たのが大森あたりの砂風呂です、その頃が一番淫風蕩々たる時代であまりのことに警視廳あたりでも喧ましくなつて色々取締りが嚴重になりカフエーは下り坂に向ひ、此頃では喫茶店が段々盛んになつて來たやうですね、新京も昨年の春まで盛んにこの種の店が殖えて盛大にやつて居たやうですが、一體こうした商賣をやる人か行く人か知らないがどうも熱し易くさめ易いと云ふか色々に形態が變つて來るやうですね、外國の話をきくと十年、廿年過ぎても依然としてカフエーとしてやつて居り更に凋落がないと云ふが大いに倣ふべき所があるんぢやありませんか、どうもこちらのカフエーは女給とカフエーとが獨自のことばかりを考へて獨立してゐるやうに考へられます、所謂營業者は營業者、女給さんは女給さんと云つたやうに見受けられ、女給さんも轉々として次から次へと平氣で變るやうに思はれますね、いつその事女給さんなんかもどん〳〵通ひのやうにしたらどうですかね、あまり纏詰にするとかへつて謀叛心を起すんぢやないでせうか

堤＝女給さんを營業主の指定する場所に宿泊せずにと云はれましたがそれに對し私はこう云ふ意を持つて居ます、終日極めて多忙な勤務の後には當然安息と云ふものが必要で女給さんとしてもアパート住ひ乃至は借家住ひを希望して居られる事も萬々承知してゐますが、然し女給さんの大部分が内地から單獨で來て居られる關係上保護者の無い人が大部分です、それに年齢其他より見て未だ〳〵一人歩きの出來ない人がありますので一面保護者等無用の方には甚だ氣の毒ですが間違が生じない樣に一番女給さんに關係の深い營業者に見守つて頂くと云ふ風にするのが今の處穏當だらうと考へて居ます（續く）

けふの番組

【M・T・C・Y 新京放送局】廿四日（日曜日）

◇朝◇

六、二五　ニュース（東京）
六、三〇　ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
八、〇〇　氣象通報
八、〇五　朝の管樂（大連）
九、三〇　子供の時間（大阪）
座談會　大和魂美談　大阪童話教育研究會
一〇、〇〇　日曜勤行（京都）
新義眞言宗智山派總本山智積院本堂より中繼＝
一、法要　武運長久國威宣揚　新禱大護摩供
新願文　智積院事務長　倉持秀峰
大護摩供　管長大僧正　齋藤隆現　外一山衆僧出仕
二、法話　不動護摩法に就いて　大僧正　齋藤隆現
一〇、四〇　講演（秋田）日本刀の話　柴田政太郎
一一、一〇　經濟市況（東京）
一一、二〇　講演（東京）小運送業の施行に際して　鐵道省臨時監督局陸運第二課長　小倉俊夫

◇晝◇

一一、五九　時報（東京）
〇、〇三　ニュース（東京）引續き東京大學野球聯盟リーグ戰實況（東京）（早慶戰）＝明治神宮外苑野球場より中繼＝
＝野球なき場合左記を放送＝
一、〇〇　浪花節（東京）　東家樂浦
一、三五　マンドリン五重奏（名古屋）
一、五五　映畫劇（東京）クラブ・ドメニカ　新興大泉撮影所連中
二、三五　軍歌の變遷（大阪）　大阪吹奏樂團

◇夜◇

四、〇〇　ニュース・氣象通報（東京）
五、三〇　講演（新京）劍道修練に就いて　延吉地方警察學校教官　村上信一
六、〇〇　子供の時間　アコーデイオン二重奏
第一アコーデイオン　赤井畑逸夫
第二アコーデイオン　辻村あきら
一、日本陸軍　二、可愛い人形　三、海國男兒　四、花嫁人形　五、日本海軍　六、日の丸日本　七、波を越えて
六、三〇　謠曲藤戸　木村公義
七、〇〇　ニュース（東京）ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇　聯隊歌（東京）
一、近衛步兵第一聯隊歌　近衛步兵第一聯隊有志
二、近衛步兵第二聯隊歌　有志
三、近衛步兵第三聯隊歌　有志
四、近衛步兵第四聯隊歌　近衛步兵第四聯隊有志
七、四五　日曜特輯ニュース（大阪）
八、一〇　連續講談（東京）笹野名槍傳（第二席）　大島伯鶴
八、四〇　吹奏樂（東京）陸軍戸山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一
一、前奏曲　奉祝　陸軍戸山學校軍樂隊作曲　外
九、〇五　長城風景（奉天）＝山海關萬里長城附近より中繼＝　＝全日滿放送＝
物語　阪内禎子　アナウンサー　河合利貞
九、二九　時報、ニュース、ニュース解説（東京）氣象通報、ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
一〇、二〇　ニュース放送　アナウンサー　野村、上森

月明の長城風景

天下第一關から中繼

（後九・〇五）

實況中の傳說物語　阪内禎子　アナウンサー　河合利貞

△……**漢民族が** 韃靼人や蒙古人の侵入を防ぐ爲に築いた土塀が、滿洲から北支方面に殘つて居ります。土塀の事であるから何百年の雨に打たれて低くなり鋤返されて畑になつてゐる部分もあるが、くづれた土塀に名も知らぬ野花が咲いてゐる風景もあはれであります。かうした邊柵とは別に、萬里の長城、それはあまりに偉大な風景であります。緑の草肌に包まれてゐた山々、そして曠野が、秋も深まるにつれて、黄土の大平野となつて、その平野を突つきり、山から山、峰から峰へと蜿蜒と匍ひのたうつた長城、山あれば山に據り、谷あれば谷に架し、萬里の長い間に築城された長城こそ、その昔北狄を防ぐ鐵壁として、今尚世界に於ける一大工事と驚歎されて居ります。城壁の高さは四丈に近く、厚さは二丈、六十間毎に堡壘が設けられて、煉瓦で疊み上げた烽燧臺が、今尚儼然と點在し、宛ながら往時の陣形を物語つて居ります

△……**人の力を** 盡した最大、最長、最堅の工事と云はねばなりません。萬里の長城は甘肅省の臨洮から起つて、河北省の山海關に至つて居ります。其の間實に五千四百四十里、四省を横貫して、若し復畾累積の延長を算すれば一萬二千餘里に達します。この間「居庸の外鎖」と稱せられる八達嶺破られば、上關にて防ぎ、上關利あらざれば居庸を守り、居庸支へ得ずんば、南口に死守し、若し南口落つれば、北京危し」と云はれてゐる三段がまえの天下の難關があり、今回の支那事變に、澤山の忠勇なる我が皇軍勇士が、長城の華と散つて居ります。

△……**また幾多** のかなしい傳說をも秘めた萬里の長城、古色蒼然たる墻壁、月明に眺望する關外の大平野、起伏曲折一萬里、風蕭々と月光を浴びて浮ぶ、雄大なる月明の長城風景を、傳說物語と共に、山海關の天下第一關の望樓から全日滿の皆樣にマイクを通してお傳へ致します。

吹奏樂

（後八・四〇）（東京）

陸軍戸山學校軍樂隊　指揮樂長　岡田國一

一、前奏曲「奉祝」　陸軍戸山學校軍樂隊作曲

昭和九年わが皇太子殿下の初のお節句を祝し奉つて作曲された曲で武運隆盛、國威發揚の秋にあたつて特に放送する譯である。

二、國の鎮め　陸海軍省制定　軍隊禮式歌

國の鎮めのみやしろと、いつきまつらふ神みたま、今日のまつりのにぎはひを、あまがけりてもみそなはせ、治まる御代をまもりませ

三、靖國神社の歌　陸軍戸山學校軍樂隊作曲　田巻秋作詞

大君の詔かしこみ、矛とりて戰の場に、さゝげたる赤き眞心、防人の雄々しき魂ぞ、宮柱こゝに太しく、靖國の甍ぞ高き、仰ぎたゝへむ永久のいさをし

荒潮の荒き波風、吹き寄する秋津島山、寇國こらす御旗を打ち立つる巖根とならむ宮柱こゝに太しく、靖國の甍ぞ高き、仰ぎたゝへむ永久のいさをし

五十鈴川清けきほとり、天照らす神の御言と、よろづ代の日繼ぎ守りて、御楯なす雄々しの魂ぞ、宮柱こゝに太しく靖國の甍ぞ高き、仰ぎたゝへむ永久のいさをし

散る花の匂とゞめて、國翔ける雄々しの御魂、神集ひ集ひまして君が代の榮光をまもらむ、宮柱こゝに太しく、靖國の甍ぞ高き、仰ぎたゝへむ永久のいさをし

四、殉國勇士を弔ふ歌　陸軍戸山學校軍樂隊作曲　土井晩翠作詞

襟を正しておごそかに、感謝さゝげよ斃れたる、わが皇軍の同胞に（凱歌とゞろく今日にして、弔らへ殉國勇士の靈を）…括弧内以下同じ…

二つなき身を皇國のために殉ぜし尊しや、その一門に榮よあれ

一兵一士一將校、位は異に道は一國に捧げし尊しや

故郷の空に山に野に、彰を再び見せずとも、靈はほゝゑむ天上に

幽明境は異なれど、魂魄飛と降り來て、鎮けく國を護るべし

遺族の涙雨とふる、いみじき犠牲かれありて、國の光ぞいやまさる

五、音詩「黄昏」　八木傳作曲

日輪西に沈みかけた夕暮の淋しさを音樂により象徴せし曲

藤戸（謠）（曲）

（後六・三〇）（新京）

△…木村公義さん

壽永三年（元暦元年）源範頼を初め源氏の軍勢三萬餘騎が都を立つて備前の兒島に着き、平の軍勢と藤戸に對陣した折、源氏方の佐々木三郎盛綱が、夜陰に島の漁夫を語らつて海の深淺を研究して置き其の案内者の漁夫を殺して先陣をなし、其のために源氏の大軍が海を渡つて戰功を樹てたが、翌年藤戸の任所へ見廻りに赴いた折、漁夫の母と殺した漁夫の亡靈が顯れて怨恨を訴へるといふ曲で、觀世流では九番習の中に加へて重い謠として居ます。

笹野名槍傳

大島伯鶴さんの連續講談第二席

（後八・一〇）（東京）

權三郎は播州三日月城下に來て笹野屋權左衛門といふ旅籠屋のあるに氣付き、世には同名異人があるものと此處に泊る事に定め城中の樣子を聞くと城代家老梶川軍太夫初め長谷川兄弟の評判頗る悪く、宿の亭主も悪し樣にのゝしつてゐる。そこで亭主の口入れで元佐分利先生の弟子で大目附を勤めて居る濱田六郎左衛門方へ身分を包んで仲間に住み込み名も權平と改めて時機の至るのを待つてゐる。と其年も機會なく、翌寛永十年正月二日の稽古初め、濱田の供をなして諸家へ年始廻りの歸途、はからずも城代家老梶川軍太夫に出逢ひ長谷川の道場に誘はれ、無理に試合を申込まれて弟新八郎と立會ひ佐分利流の極意を以て打ち据える事は容易であるが相手に華を持たせて勝を讓る。然るを暴戻不遜なる新八郎は無法にも濱田の眉間を稽古槍の石突で傷つける。築山の蔭から拜見して居た仲間權平實は笹野義胤はたまり兼ねて飛び出し主人濱田に替つて新八郎に立向ふ。元より權三郎槍を取つては稀代の名人、殊に摩耶山中にて佐分利先生より授けられたる極意を以て散々に新八郎を飜弄したる末「オイ若先生此道場ぢやア參つたと云ふ者の眉間に傷を付けるのが家風ださうだな、さア主人の借りた打擲を、今改めて返すから受取つて異れ」とピシーリと眉間に傷を負はせる。これを見て居た兄新六郎は怒つて權平を手討ちにせんとする。待つてましたとばかりこれに木刀を持つて立會ひ、何なく新六郎を打据へ、主人濱田を促して邸に引上げ、美事長谷川兄弟を膺懲する一席。

學藝

創作　雲野かよ子（下）

桃北好澄

今は仕方なく女給の勤めをやつてゐるので、感情は技師の廣間に坐つてゐるときみたいに苦しかつた。胸に大きな穴をあけられてゐる空虛さはつい堪りかねて、酒の力を借りるのだが、そんな事で誤魔化せないのだ。噂だけの増田の醜行とはいへ、十九のタイピストが相手だと思ふと、もうそれだけで近子の感情には寒い波が躍りまはつた。生娘の清純に復讐する一途の態度に見えた。

近子はそんな女である。曾て桃北好澄といふ男が、ある小説の中に近子の男性流轉を娼婦型だと書いてゐるのを讀み

「ふゝんだ、あんなへつちやらな文學青年に何が解るもんか、自分の阿呆加減を廣告してゐるみたいぢやないの」

そんなに、仲間の前では一笑に附して取合はなかつたのであるが、あとで増田に

「あんたが結婚して下さらなければ死んでしまふわ、あたしは覺悟を決めて來たのよ」

齒がカチカチと鳴り、覺悟をしたといふのが些かも誇張であるとは思はれなかつた。あの夜、増田が近子とホテルに泊り込んだといふのは、實は増田の出鱈目に過ぎなかつたもので、人から莫迦にされると近子はどうしても自分の氣の濟むやうに復讐しなければ生きてをれぬ性分らしい。人々はさう思込んでゐて近子らしく可憐しいぢやないかと言ふのであつた。

カフエー「寶塚」は何時の間にか廣間のネオンが消されひつそりとなつた。近子の雲野かよ子は、既に醉ひ潰れ長椅子の上に倒れてゐた。

「水、みづう」

足をバタ〱させて、舌が縺れた。マネージャーは近寄つてやさしく抱きおこすのだがドレスを通して馴染のない肉感に心が窮屈がつた。立たせると呼吸をぜい〱言はして苦しさうであつた。凝つと立つてはをれず、體をボックスに靠れて、近子は長い引眉の眼をつむつてゐた。すべ〱した顔の色艶も、近子の場合には直ちに樂しい青春の意味でなく、何か由縁あつての神からの授り物のやうに思はれるのであつた。マネージャーは近子の體を支へるやうにして、蒼白く冴えた頸に唇を押しつけた。感情が少し許り暗く複雜なのは近子に對する自分の今までの神經に拘はつてゐるせゐであらうかと疑はれた。噎せるやうな女の匂ひを嗅ぎ乍ら、こんな風景がどこかにあつたと心は大膽に貪婪に變つてゐた。

——左様、そのやうな一齣はそこいらにざらに轉つてゐるものであらう、近子は醉つぱらつてゐたからマネージャーの挑戯に對して心の用意も無駄であつた。「水、みづ」と喚いて、一向に他愛がなかつたのである。

□

近子はのちに、件のタイピストに會つた。丸顔が非道く稚く見えるのだが、十九の女にしてはどこか尖つた氣性を隱しもつてゐるやうに思はれた。増田と手を切つてくれと詰寄ると案外簡單に承知してくれた。

「わかつたわ、本當はあたしの方からお願しようかと思つてゐたの、これからはあの人を縛りつけておいてね」

靜かに言つた。まるで、何年も増田との愛慾に苦しんで耐りかねた人のやうであつた。増田は頼りにならぬ男だと同情を言はれて、近子は若いタイピストを可哀相に思遣つた。ふと近子に、十九の頃の自分は何も知らない女であつたと騒ぎに來るものがあり、思出して「あゝ！」と不思議な氣がするのであつた。僅か二年の間に味つた様々の經驗を念頭に置かぬほど、一方に於いて理智が幼稚になつてゐた。今は、頼りない男との一生に追込まれてゐるのだと、ぢつと眼を俯せるのである。近子は増田を愛してゐた（註、此の一章にさきに書いた「宮坂三枝」の續篇である）

文藝親話會第四回（三）、文學親話會

坪井　大連の日本人側の同人雜誌運動を一つ

吉野　これは山口さんの方が古いんですが、ゐられないから私から申します、新京がまだ長春であつた頃は文學運動はなく唯大連を中心として多少ありました、一番古いのは童話作家と詩人で新らしい詩では日本內地にも知られ、石森延男さんも始め中央の童話雜誌に發表してゐたが小說の方はかなり遲れ純文學としては「作文」といふ雜誌、詩の雜誌では現在では「鶴」といふのが出てゐます、これが純文學のもので「新天地」「滿蒙」「滿洲評論」「月刊滿洲」「滿洲行政」等々が低い綜合雜誌として文學欄を持つてゐます、まだお互に連絡がなかつたが橫の綜合、親睦機關として六月に文話會が出來ました、文學を向上し出來るだけのことをしたいと思つてやつてゐます、親話會とも連絡をとつてやつてゆくべきものと思ひます、文話會の仕事としては散らばつてゐる作家の原稿を集めるとか、名士の講演を聞くとか、滿洲文藝年鑑を毎年一册づゝ作つて傑作と認められるものを集める等、經濟力はありませんが、さういふ意向を持つて活動してゐますから御利用になつて下さい

赤川　も一度話をいたしますが仲さんの話もあつたが、滿洲建國前は勿論、後も鑑賞するのゝ文學として鑑賞するものと、創作するものとの區別はどうでせう

曲　書くことも書くが大體區別してみると階級によつて勞働階級と青年層と四十才以上のものとに區別されます、勞働層は文學としてはみません、學生、青年層は趣味として、文學として四十才以上で始めて純粹ですが建國前からみると北京、上海、南京から本を持つて來ました、すると學生は書く熱が出て奉天にも二、三種の雜誌を出しました、上品ではありませんが毎月出しました、で文學を奬勵すれば書く人は出てくると思ひます

仲　鑑賞階級はあるが創作階級がないのは中央的な機關がないことによります、それが根本的で自由主義的にするか統一したものにするかも中央がないからです、文藝協會が出來ないんでしたら文化協會あたりが中心機關となりやつてゆくのが必要で、ひが目かしらないが大連は古いところで詩壇も日本をリードしたところを持つてゐるが一面植民地的な狹さを持つてゐるんぢやないでせうか、それはどうしてかといふに評論を讀んだり雜誌をみて感ぜられることで、この狹さがあつては發達しない、文學理念として滿洲文學といふものがあるといふ理念ではない特に滿洲の特殊性として國策に影響され、國策が藝術を生むのではなく、その國策に乘つて、こゝに集まつた人達が藝術を生たので滿洲文藝協會を中心にして滿洲文學の方向が生れるべきで決定さるべきではないと思ひます、も一つ滿洲では作者がなく文壇がありません、ところで日本にはギルド式で封建制のため強く外國文學が入り文學に於けるギルド組織は尾崎紅葉時代が最盛期で紅葉が死んで沒落して墮落はしたがそれから日本的な文壇といふものが生れた、外國ではエネレフの君臨といふことはあるが文壇はない、日本のやうに雜誌に發表してそして文壇にデビューするといふやうなことはない、フランスには文壇はなくエネレフが中央機關をなしてゐる、英國でもその中央機關を續けて各作家の作品は生れてゆく、日本では文壇があり各作家が自分の世界を築いて、その中でふんぞり反つてゐるといふことに狹い殼を持つてゐる、滿洲ではギルド組織の文壇が生れるだらうが其殼を破らなくてはいけない、文話會にしろ何にしろその殼に閉ぢこもるのが有害なので、其點を注意され親話會の主催者でも注意してほしい、また日本の文學は外國文學の輸入で日本の新文學が出來たのではなく鷗外、逍遙の有名な論爭があり、結局鷗外が勝となつた形だが、さういつた評論によるもので自然主義文學は文藝評論の確立によるものが有力であつて抱月が文藝理論から大正三、四年頃劇壇に入つてから評論の獨立がなくなつてそれが日本文壇の墮落の初めです、滿洲文學に對する價値現在評論すべき論文がまだ見られないが滿洲では日本人ばかりでなく滿人側からも評論を起さなくてはなりません、それから中國文學には純粹の文學はなくて堯舜時代からの書物の註釋か文學であつて白話、所謂文學は輕蔑されてゐます、併し魯迅の文學研究を少くも中國の若い青年はやつてをり、中國文學の影響下にある滿洲では文學研究運動を強力にする、例へば文藝評論はさういふところに將來を置かなくちや、さういふところから滿洲文學の特異性が生れるんぢやないかと思ひます

板垣　日本內地のより滿洲にゐる日人のを譯した方がよいと言はれたが事變前からゐる人と建國後の空氣を吸つた人とはかなり異ふと思ひます、メイドインジャパンのは末梢的なものである結局日本人の創作慾が中心になつて考へてゐるが、滿洲にゐる日本人の書くものばかりではない、滿系の中にもどん〱出てくる日があるでせう、創作は寧ろそれに期待されてゐる、それで日本人の今までゐる人の書いたのは極く僅かです

吉野　日本人の書いたものを飜譯する、これから出るものをもまた飜譯するのです

坪井　日本人の側から云へば日本人の書いたのより外國人のものを讀むのが嬉しいところが、それは出稼根性もあるが、こゝに根を下ろしてゆくやうになればそれがほしくなるでせう

長谷川（弘報處）　結局植民地文學となりますかね

仲　日本の文學が口語文に統一されたのは明治四十年頃で自然主義になつて方向が定つたもので、その意味から吉野さんの云はれた過度的な組織が必要です

吉野　事變前はとに角大連が中心で內地臭かつた、これからは大連を出て新京中心になるといふことは認めてゐる

文學親話會　記錄所感その二

文學親話會では、もつと種々の問題で意見が出ることかと思つてゐたのであるが、記錄を見るとそれ程の事も無かつたらしい。

で、私の感想も簡單たものとならざるを得なかつた。それは全體を通じて、どうして統制を取つて行くかといふやうな問題に力點が置かれてゐて、先づその前に基礎的な問題としてこの國に於ける在住諸民族の文學活動を旺盛ならしめるために寄與するやうな方策が考へらるべきことが忘却されてゐたのではなかつたかといふことである。ただ一つ雜誌の發行を出來るだけ自由にして欲しいといふ一人の人の意見に出てゐるが、それだけに限らずもつと考慮さるべきことであつたと思ふのである。これで私の感想は盡きる。

滿洲文化の將來のためには種々の意見が出るがよい。親話會の企ても一應の意義はあつたものとして、更に今後もこの種の催しが大いに行はれるやう希望して置かう（大內隆雄）

小野寺氏夫妻送別歌談會

奉天省西安に赴任することになつた小野寺宮助、清子氏を送る新京短歌會主催の送別歌談會は二十日午後六時から大興ビル食堂で開催されたが、幹事三井實雄氏その他から種々惜別の情を述べるところあり、同夫妻を中心に和やかな集ひであつた、當夜の詠草左の通り

洋菓子など西安にはあるまいたべて行けと言はれつつこの會にカステラを食ふ　小野寺宮助

男子なべて暴君と言ひつつ寂しかり同じあめつちに息づきながら　小野寺清子

小野寺清子夫人に
シュークリーム喰べますにあらず前に置きて眺めゐますはわりなきことか　三井實雄

陝西の古都をもおもふおなじ名の近きに君が建てん金字塔　渡邊三角洲

小野寺先生
變つてゐるから私が頂戴しましたと言はれし言葉穩やかなみ顔　古畑巴

軍馬と共に貨車に積まれて出で立ちしと語らふ叔母は淚ふきつつ　石田幸

見ひらきて鋭き色に光れどもあはれふくろは晝見えぬ鳥　津田八重子

深霧の降りゐしづめる谿そこに流るる水のかそかなる音　鶴慶夫

夜の雲月より還し空の明るさいよいよ澄みて保つ夜更を　稻垣渾安

つづけざまに來し消息の絕えしより長城線にいくさうつりぬ　盛田武男

旅先より妻に打電すちぬ喰べたい明晩かへる旅のまちに醉ひて汝と兒をひたに思ひゐる　鈴來濟

金にかへむと書籍選りつ一しまらくは何か心の猛々しかりき　桃北好澄

泉芳雄欲なし

慢性胃腸病にはアイフ

手足の創傷には殺菌、防腐繃帯の手當を怠らない方も胃腸内壁に出來た疵や爛れには案外無頓着な場合が多いのではないでせうか？

胃腸内壁の損傷は分泌、運動、消化、吸收の諸機能を妨げる許りでなく、食物、消化液の刺戟から潰瘍、癌腫を誘發するの危險さへ伴ひます。慢性胃腸病に於ける執拗な消化不良、食慾不振、下痢、便秘等もかうした器質的變化に基因してゐる場合が多いもので、食後や空腹時の疼痛はその證左とみなければなりません。

治療薬アイフによるこれが防護治療は、機能恢復の基礎工作とも申すべきであります

健全な胃腸粘膜　はアルカリ性粘液に覆はれてゐて、消化力の強い胃液でも侵されることはないのでありますが、暴飲暴食や咀嚼不充分不消化物、過熱過冷の飲食物、酒、煙草、香味料等で胃腸に無理な負擔をかけたり、過度の刺戟を與へてゐると粘膜が荒れて炎症を起します粘膜上皮が侵されてゐる間は單なるカタル症狀でありますが、治療宜しきを得なかつたり、原因的な刺戟が反復されたりすると慢性の經過をとり、症狀が粘膜下層にまで進んで疵や爛れから潰瘍性を呈します。

慢性胃腸病に　食後や空腹時の烈しい胃痛腹痛、嘔吐、出血等の症狀が現れて來るのもこれがためで、油斷をすれば胃潰瘍、十二指腸潰瘍に轉化したり、癌腫を誘發し易いと云ふ實に危險な症狀でもあります。殊にかうした損傷が小腸粘膜にあれば、養分の吸收困難から榮養の低下は必然で、勢ひ抵抗力の減退となり、肺尖カタル、腸結核等にも冐され易くなる道理であります。慢性胃腸病の衰弱に未消化の榮養劑等補給しても徒勞に終り易いと云ふのもこれがためでありませう。從つてこんな場合、酵素劑や榮養劑の攝取よりも、まづかうした器質的變化を排除するのが何より緊切であります。

治療薬アイフはこれら損傷を防護、治療する許りでなく、同時に誘起される食慾消化、便通の諸障碍にも好果を齎すもので、主薬が胃腸内壁の瘡面に沈着して食物、消化液の刺戟を防ぐとゝもに、胃内の酸度を低め、炎症、糜爛を治癒に向はせる外、分泌や蠕動機能の異常を整へ、胃腸筋肉の弛緩を引緊め、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等廣汎な病原治療を營みますから、胃痛、腹痛、嘔吐のみならず、胸やけ、噯氣、惡心、下痢、便秘、消化不良、食慾不振等の諸症狀を伴ふ慢性胃腸病には、最適の治療薬として第一に推奨せられて居ります。

藥價

四日分	七十五錢
八日分	一圓五十錢
十七日分	三圓
特製十一日分	五圓

實證には特製アイフ
便秘症には加減アイフ

◀全國到る所の有名藥店にあり▶

大阪市東區清水谷西之町
發賣本舖　順和商會
振替大阪三四五五番　電話（東）五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三番

東京　東京市本鄕區眞砂町九番地
振替東京六二八八番　電話（小石川）四〇一〇番

大連　大連市山縣通一丁目
振替大連三七六五番　電話七六〇八番

絢爛、馬術の華展く
けふ初の全滿大會
午前九時、西公園運動場に
榮冠目指す晴の爭覇

參加二十團體選手百五十名といふ滿洲最初の豪華版、滿洲乘馬協會、大滿洲帝國馬術協會共同主催の第一回滿洲馬術大會は廿四日午前九時から初冬の氣澄む新京西公園滿鐵運動場にて開催される、晴れの大會に優勝の榮冠を目ざして出場する各地選手は二十三日續々入京し各自人知れず猛練習を開始し會場西公園内滿鐵運動場は準備萬端整ひ午後三時過ぎからは畜産局春田氏らのポロ練習勇壯なる障碍飛越練習或は少年少女の騎乘練習など嫌が上にも大會氣分をあふつてゐた、大會は午前九時大會長呂榮寰氏、副會長岸、三浦兩氏、町山關東軍獸醫部長、關東局武部總長等顧問等列席莊嚴なる入場式によつて開始され所定のプログラムに從つて回を進め午後五時頃終了の豫定である、當日は關係者のみならず一般市民の多數參觀を歡迎すると【寫眞は大會をあすに控へたきのふ西公園内の練習風景】

傷病兵南下

新京陸軍病院に療養中であつた白衣の勇士十一名は二十三日午後四時四十分哈爾濱よりの二十九名と共に新京驛發途中公主嶺より五名奉天よりの二十名を加へて一路內地原隊に凱旋した

情死事件の靑木 取調べ終る

旣報、寬城子郊外伊通河畔情死事件の片割れ謎の人物としてて當局の搜査網をくゞつては逃走に次ぐ逃走大詰は去月十日午後十時記念公會堂に忍び込み大格鬪の末五十餘日目に逮捕され獵奇とスリルをたぶんに盛り込む近來の大捕物として國都に時ならぬセンセイションを卷起した本籍福島縣岩瀨郡白方村大字今泉百六十九番地住所不定靑木祉良（三〇）は以來領事館警察署司法係に於て取調べ中であつたが廿三日取調べを終了し來る廿六日領事館檢事局へ身柄を一件書類と共に送致することに決定した

新京混聲合唱團
卅日第一回公演
夜七時から記念公會堂で

新京混聲合唱團では愈よ準備も整つたので三十日午後七時より記念公會堂に於て滿日文化協會、民生部、市公署、弘報處、協和會首都本部、放送局後援のもとに第一回公演會を開催することになつた、曲目は時局國民歌、協和會行進歌等で、右の內ロシヤ語にはハルビン交響樂團が賛助來演する筈である、尙放送局ではこれを全滿に放送することゝなつてゐる

氏名詐稱の酌婦 營業停止

廿三日朝刊旣報、特別市五馬路料理店丸富樓抱酌婦若奴こと島エノの氏名詐稱に對する處分は領警保安係で考慮中であつたが、斷乎營業停止となすことに決定、目下前借の仕末方に關し島と樓主間に交渉中でこれが解決次第處分となるものである

滿鐵支社勸業係 草花球根の 購買斡旋

滿鐵新京支社勸業係では多の長い蟄居生活中唯一の家庭慰安にと秋植球根類の共同購入斡旋をなすことになつた斡旋種目は

△ヒヤシンス和洋種十餘種△水仙十餘種△チユーリツプ十餘種△フリージヤ四種△花百合三種△雜球根五種△德用組物△ヒヤシンス水栽培用グラス△德用園藝肥料

等で希望者は十一月廿日までに滿鐵支社業務課勸業係（電三一四八四九）へ申込まれたい と代金は官公衙は俸給差引き一般市民は現品引換である

第五分會再優勝
個人優勝は澤崎（銃劍）尾形（軍刀）兩氏
鄕軍武道戰々績

在鄕軍人新京聯合分會武道大會は快晴に惠まれ士氣愈よ揚り十分會より選出された二百の勇士によつて火花を散らす熱戰が演ぜられたが第五分會日頃の鍛錬現はれ銃劍術、軍刀術共に最高點で優勝し名譽ある優勝旗、優勝盃を再度獲得した、終つて五十嵐聯合分會長の講評、二宮顧問の訓辭があり表彰式に入り國體並に個人優勝者に分會長より賞狀賞品を授與し五時半終了した【寫眞は個人優勝者に賞狀授與】

分會對抗戰

▽銃劍術

一等　第五分會（七二點）
二等　第三分會（六九點）
三等　電業分會（五一點）
四等　第四分會（四七點）
五等　第二分會（四三點）
六等　中銀分會（四〇點）
六等　軍分會（四〇點）
七等　電々分會（三八點）
八等　第一分會（三五點）
九等　滿炭分會（一四點）

▽軍刀術

一等　第五分會（七一點）
二等　中銀分會（五五點）
三等　第四分會（五二點）
四等　第三分會（五一點）
五等　電々分會（四六點）
五等　軍分會（四六點）
六等　第二分會（三八點）
七等　第一分會（三七點）
八等　滿炭分會（二九點）
九等　電業分會（二五點）

個人優勝

▽銃劍術

一等澤崎宗策、二等伊藤愼吾、三等平山文一、四等藤川繁雄、五等齊孝、六等山口勇喜、七等三田二郎、八等猪俣寅喜、九等近藤作太郎十等小林龍男

▽軍刀術

一等尾形幸吉、二等淸藤正男、三等新村貢美、四等吉井忠志、五等本間茂鋭、六等川內䢖一、七等井上淸彥八等中島武、九等作間敏、十等吉井武繁

政務處長更迭 正式發令遲延

旣報のとほり外務局筒井政務處長は去る十八日の國務院會議をもつて辭任することに決定したが、後任者龜山一二氏の着任がやゝ遲れるので從つて筒井氏の正式發令も亦相當遲れる模樣である

時計行商人に 妻女の搜査願

本籍山口縣吉敷郡佐山村、現住所朝鮮咸南咸興府大和通三の六三吉村信之氏（二八）は本月上旬江原道方面に時計行商のため時計、貴金屬約百點餘を所持出張したが、去る七日付郵便にて奉天驛列車より『滿洲に行くから』と認め妻女敏子さん宛稱した書狀を出したまゝ行衛不明となり其後新京に在る形跡で妻女敏子さんから新京署へ搜査願出あつた

武神の恩寵賭けて
氣負ふ劍士六百
全滿劍道戰けふ火蓋を切る

第四回全滿武道大會劍道戰は出場チームの組合せ抽籤も終了し愈よ二十四日午前九時より新京大經路兩級小學校に於て戰ひの幕は切つて落されることゝなつた、この日名譽ある大會の覇者は誰か、旣に全滿つぶ選りの劍豪戰士は續々と國都に乘り込み、個人試合百三十八人、團體四百五十人合せて約六百名に達し、中には教士一名、練士六名加はり四五段の高段者から二、三段の中堅猛者連を網羅して國を擧げての非常時に相應しい絢爛華麗なる大試合を展開せんとしてゐる、いざ戰はん哉、六百の若人よ！この時、この壯烈飽く迄正々堂々たるスポーツマンシツプに終始せん、尙當日の役員には名譽會長には張國務總理大臣を始め左の如く各方面の知名士に決定した

▽大會役員（順序不同）名譽會長張國務總理大臣、會長孫民生部大臣、副會長宮澤民生部次長、評議員永友關東軍副官、石井治安部軍事顧問、飯澤特別會計科長、平野保健體育科長、大會委員長皆川教育司長、大會副委員長山田恩賞局科長、大會委員伊吹幸隆（總務廳）山口安男（經濟部）藤田昌吉（民生部）松島勝城（民生部）井上義人（產業部）石井儀一（中央警察）新谷寶弌（郵政管理局）雨宮德左衞門（中銀）西政義（首都警察）山口勇喜（憲訓）末永正男重村一彥（憲訓）坂井藤三郎（商業學校）村山武（中學校）森富男（交通部）柴田公靖（經濟部）金丸善清（電々會社）畑正雄（電業公司）審判長範士高野茂義、審判員（教士）宮澤常吉、篠原義雄、守屋剛二、石井儀一左坐藤三郎（錬士）金澤憲一郎、山口安男、安齊多一伊吹幸隆、藤下淸吉、山口勇喜、後藤周助、末永正男坂井藤三郎、岩崎丙午、重村一彥、前田良助、平井一

本庄大將北鮮へ

廿三日離京の豫定であつた本庄大將は、豫定を變更し廿四日午前七時發飛行機で北鮮へ向ふことゝなつた

氏は廿三日午後二時十分新京驛發あじあで家族同伴正式赴任したが驛には軍部關係、滿洲國、特殊會社各代表各支社員其他盛大な見送りがあつた

西本願寺行事

日曜講演　午後二時
演題「聞名の宗教」　講師　松浦達雲氏

女給さんの遊覽バスのあとで何分にも口うるさい連中のことゆへ乘つた感想を一應聽いて見やうと三中井の試乘座談會に出席した交通會社の橋口專務、永井支配人▼色々女給さんに鉾先きを向けるがお孃さん方さつぱり御感想をお洩しにならぬ、手を燒いた橋口さん今度は握手からと先づチツプの話を持ち出すと案外彼女等喋り出しつゝいつり込まれて結局「乘つてよかつたわ」「一度は乘つて見るものだ」との結論に御兩人御滿足で「今度行つたら今日乘つてくれた女給さんにはチツプをはりこまうね—」

月來休業して內部の大改造を行ひつゝあつたか此の程出來上つたので永年大連のヤマトホテルに勤めた腕利きのコツクと精練された美少女を招き調理とサービスに萬全を期し二十四日から開業した

謝、李、周の大匪團
包圍されて殲滅
北滿討匪行に凱歌高し

【佳木斯國通】北滿冬季大討匪中の秋井部隊麾下各部隊は各地に轉戰その奮鬪は目ざましいものがあるが、北滿匪の巨魁謝文東、李花堂、周保中等の率ゐる大匪團がわが部隊の果敢神速な行動によつて潰滅されたといふ快ニユースが廿二日當地に齎された、去る三日三道　方面に遁竄中の〇〇部隊麾下の〇〇、〇〇兩部隊は李花堂匪二百、謝文東匪二百五十、第〇〇團救濟軍四百が五道河子流域十六キロの地點に、また周保中匪が四道河子流域三十キロの地點と蟠居中との報告をうけ、直ちに同方面に出動、包圍體形をとつて老爺嶺の峻嶮に構へられた匪團の山寨を奇襲、同匪團に抵抗の隙を與へず、これ等山寨を片ッ端から覆滅燒却し更に算を亂し牡丹江省〇〇方面に潰走する殘匪を猛追擊しこれに全滅的大打擊を與へた右戰鬪において謝文東匪及びその手兵百を擒くも逸したが周保中匪參謀長金同以下多數を殪したほか左の如き損害を與へ凱歌を擧げた

一、山寨覆滅燒却四十餘棟
一、鹵獲品　防寒服百五十、シヤツ二百、防寒帽五十、婦人服四十四、地下足袋百八十、紅槍會槍廿五、粟二百袋その他ミシン、長靴、毛布、小銃、トランク、建築用具等多數

なほ山寨內で遺骨二體を發見したが、捕虜の言によれば右は久しく消息不明中の〇〇團附坂崎忠孝中佐、村川通譯の遺骨といはれ、わが軍の手によつて懇ろに持ち歸られた

三江省方面の 討匪狀況

三江省方面における匪賊討伐は着々實績を擧げつゝあるが最近の討匪狀況左の如し

一、〇〇部隊は五日午前十時依蘭〇〇〇において匪團と交戰擊退す、敵遺棄死體八負傷十八、鹵獲品洋砲二、馬一、わが軍損傷なし
一、〇〇隊百五十名は七日午前八時頃富錦縣架晉鎭西北方十五滿里の馬鹿屯部落において劉團長以下五十の匪と交戰擊退したが、連長級一名を捕虜とす、敵遺棄死體十五、鹵獲品小銃六、拳銃一、馬廿八、負傷者多數わが軍負傷八名
一、〇〇部隊は七日綏濱縣城東北方約六十キロ宏力河附近において匪賊の山寨十一を覆滅し馬五、天幕四等を鹵獲す、わが軍損害なし
一、（〇部隊は十一日依蘭縣五道崗北方二滿里の地點で匪首韓團長（第八軍謝文東系）を攻擊捕縛す、鹵獲品拳銃、馬等、わが軍に損傷なし
一、〇〇部隊は十一日午前十時依蘭縣五道溝附近において匪首仁義好の約九十の匪團と交戰約一時間にして擊退す、敵遺棄死體二、捕虜二、鹵獲品小銃二、馬五、わが軍斃馬五
一、〇〇部隊は十二日午前十一時依蘭縣六道溝において匪首第三軍馮旅長と交戰擊退す、捕虜二、鹵獲品小銃その他、わが軍損傷なし
一、〇〇部隊は十六日午後八時依蘭縣羅圈河において匪首陸團長、康副官、劉旅長等の合流匪と交戰一時間にして東方揚子溝方面に敗走せしむ、敵遺棄死體三、負傷十二、鹵獲品新馬十、彈藥三百五十五、銃劍一、捕虜三、わが軍損傷なし
一、〇〇隊は十七日午後三時依蘭縣東南方約五十滿里の地點に於いて匪首第九軍李團長以下の匪團と數時間會戰後擊退せしむ、敵遺棄死體十二、鹵獲品小銃五、馬十八、捕虜三、わが軍損傷なし

東洋國際氷上大會
明年奉天開催
滿鐵卅周年記念行事として

【奉天國通】滿鐵三十周年記念行事として今冬十二月より行はれる豫定であつた歐米スケート選手招待國際競技大會は時局柄中止されることとなつたので、滿洲氷上競技聯盟本部ではこれに代るべき國際競技につき種々考究中であつたが、今回東洋國際氷上選手權大會開催の計畫成り來る十一月七日全滿各地の關係者の參集を求めて右案に關する具體的協議を行ふことになつた開催期日は大體明年一月諏訪湖における神宮競技大會終了後二月初旬奉天において開催新京、大連、安東各地でエキジビシヨン試合を擧行することになる模樣である

新京公學校 創立廿五周年 記念式

新京公學校は本年宛も創立二十五周年に當るので十一月一日午前十時から講堂に於て創立廿五周年記念式を擧行する

菅野誠氏赴任

滿鐵鐵道總局文書課長菅野誠

慶應先勝 早慶一回戰
3—1

【東京國通】早慶野球第一回戰は廿三日午後一時半から神宮球場で開始した、リーグ戰の興味としては旣に明大の連覇確定して、いさゝか物足りないが流石の傳統の一戰、兩校ナインは鬪志にあふれて必勝の陣を敷き、スタンドに盛上つたファンも兩校の學生群も時局柄例年のやうな華やかな應援ぶりはみられないが烈々の氣魄をもつて球場內を緊張せしめた、試合は終始手に汗を握らす白熱戰を演じたが結局三對一で慶應先勝す

△バツテリー
慶大　中田、櫻井
早大　若原、辻井

△スコア

慶大	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0
早大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

1—3

扇芳グリル開業

ダイヤ街扇芳亭グリルは扇芳亭が直營でやることになり先

天氣と氣溫

けふの天氣　北西の風晴
日の出　前七時三分
日の入　後五時四二分
月の出　後九時二二分
月の入　前十一時四九分
きのふの氣溫　最高一八度三　最低零下〇度一

國防皇軍慰恤献金品（本社取扱）

一金一萬一千二百七十四圓二十二錢
一慰問袋　千二百九十五個（關東軍司令部へ）
一千人針
一金一千四百五十六圓（駐滿海軍部へ）
累計　一万二千七百三十圓廿五錢
……十月二十二日迄の分……

義人長七郎

（舞臺上演 映畫化） 中川雨之助 竹枝一郎畫

（八十一）

白痴の少年（一）

ところが、誰も居ないと思つたこの墓原の何處かで、ボソ／＼と語り合ふ人の聲が聞えて來るのです。

見ると、とある大きな墓石の蔭で、二人の非人が、日向ぼつこをしながら、ひそ／＼話し合つてゐるのです。

非人のことだから、二人ながら汚れたやうな古手拭で頬冠りして莚に蓙を擴てゐるが、その一人は、姿こそ變つて居れ、紛ふ方なき切支丹浪人の大江軍平です。

先夜、お銀の爲にお墨付を奪はれ、捕方を斬つて危ふく虎口を脱れた彼は、非人に姿をやつして、まだ江戸にうろついて居るのでした。

相手の非人は、何者か分りませんが、是また一ト癖ありげな面魂しい。ただの非人ではありません。大方軍平一味の者が、やはり非人に變裝して、何か活動をしてゐる者と想はれます。

「場所は、護持院ケ原だな」

「左樣」

「シテ、時刻は…」

「大抵夜の五刻過から遲くとも四ツ半までぢや」

「供人は？」

「せい／＼二人か、三人」

「で、將軍の服裝は？」

「無紋の着流し、脊のスラリとした痩容の、そして從者と四五間も離れ、先に立つて獨りで歩いて行かれるので、一目で、それと分る」

「ウム好し。天の與へだ、今度こそ將軍は一ト討だ、能く知らせてくれた、忝ないぞ」

軍平は、相手の手を取つて、押頂かんばかりにしました。

何か知らんが、話の樣子では、將軍を一ト討などと、容易ならぬ密談のやうです。

ところが、その時、この二人の非人を驚かして、ツイ近くの墓石の後ろから、ヒヨツコリ頭を持ち上げたものがありました。

「あツ」と、驚いた軍平、いきなり竹杖に手をかけ、仕込みの刀で一ト打と身構へました。

見ると、現れたのは、まだ十五六歳の男の子です。

非人ではないが、垢まみれの襤褸に、汚れた着物を着て、この寒空に、胸を一ぱい擴げて、青洟を垂らして、口をポカンと開いて、こちらを向いてニタ／＼と笑つてゐます。

「あ、暫らく……」

といつて、一人の非人は、軍平を押留め、少年に向つて、

「おい小僧、此處へ來い」

と、手招きをしました。

「うん。なんだい」

と、少年は、ニコ／＼しながら、二人の傍へ來ました。

「あゝ好い兒だ／＼、己の訊くことに返辭をするんだぜ。あとで美味い物をやるから」

「美味い物くれるか。あゝ、なんでも返辭するよ」

「さうか。お前さつきから、あの墓の後ろにゐたのか」

「あゝ、さつきからゐたよ」

「ぢやあ、此處で己たちの話をしてゐたのを聞いたらうな」

「あゝ聞いたよ」

「どんな話を聞いたか、言つてみな。正直に言つたら、美味い物をやるぞ」

「さうだなあ……」

と、少年は、仔細らしく首をひねつてゐたが、突然大きな聲で

「將軍さまを斬るといつたぞ」

「あツコレ」

非人の一人が、あわてゝ少年の口を塞ぎました。

軍平は仕込杖の鯉口を[illegible]た。少年を睨んだ眼に[illegible]がひらめきました。